

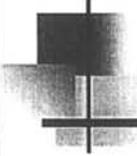
平成25事業年度一般会計事業計画  
・収入支出予算等に関する記者会見

発表事項

- 1 平成25事業年度一般会計事業計画について
- 2 平成25事業年度一般会計収入支出予算について
- 3 平成24事業年度一般会計(高齢者医療制度円滑導入勘定)収入支出補正予算について
- 4 平成25事業年度一般会計(高齢者医療制度円滑導入勘定)収入支出予算について
- 5 東日本大震災に伴う診療報酬等請求支払の状況(平成24年12月診療分(25年1月処理分))について
- 6 保険診療と審査を考えるフォーラムの開催結果について
- 7 支払基金における審査状況(平成24年12月審査分)について
- 8 特別審査委員会の取扱状況(平成25年2月審査分)について
- 9 後期高齢者支援金等の収納状況(平成24年度第10期(25年1月)分)について

平成25年2月25日

社会保険診療報酬支払基金



## 1 平成25事業年度一般会計 事業計画について

---

## 第1 平成25年度における事業運営の基本方針

- 引き続き、「支払基金サービス向上計画(平成23～27年度)一より良いサービスをより安く」を着実に実施する。
- 「支払基金サービス向上計画」の年次の実施状況を明らかにした『支払基金サービス向上計画』の「第3次フォローアップ」を策定する。
- 平成25年度における支払基金の事業運営に当っては、引き続き、次の基本的な考え方で取り組む。
  - ① 「守るべきものを守りつつ変えるべきものを変える」
  - ② 「組織力を最大化するマネジメント」
  - ③ 「分かりやすい説明」

2

## 第2 良質なサービスの提供

- ITを活用し、社会の要請に応える良質なサービスを提供する観点から、平成25年度には、次のとおり、取り組む。

### 1 審査の充実

#### (1) 審査の充実のための方策

##### イ コンピュータチェックの充実

- 原審査の充実に向けて、チェックマスターを活用したコンピュータチェックの対象を段階的に拡大する。

##### ロ 突合点検及び縦覧点検

- 平成24年度の実施運用状況を踏まえ、円滑な運用を図るため、審査上の問題点等を把握し、対応を検討するとともに、その効果を検証する。

福島県に所在し、平成25年2月審査分まで突合・縦覧点検の実施の猶予措置の対象であった医療機関のうち、福島第一原子力発電所の事故により、真に診療等に影響が生じている医療機関で、改めて届出があった医療機関に対しては、猶予措置を更に6か月延長する。

3

## ハ 職員の審査事務能力の向上

○ 職員の審査事務能力の向上を図り、全国の職員が同じ視点（着眼点）で審査事務を行うことができるよう、次に掲げる方策を実施する。

### （イ） 審査実務研修

- ・ 審査事務に関するリーダーを育成
- ・ 診療科別の審査事務の着眼点を習得

### （ロ） 理解度の把握

- ・ 得意・不得意分野を把握し、能力に応じたフォローアップ

### （ハ） 他支部による2次点検

- ・ 審査事務のノウハウの共有

### （ニ） 本部からの審査事務の指導・支援

- ・ 審査実績の分析・検証に基づいた指導
- ・ レセプト点検、審査実績の分析等支部の要請による支援

### （ホ） ネットワークによる連携

- ・ IT等を活用し、本・支部及び支部・支部間の情報交換

4

## 2 審査の不合理な差異の解消

### （1） 審査委員会の機能の強化

○ 引き続き、「専門分野別ワーキンググループ」の活用、「審査委員長等ブロック別会議」の開催、医療顧問の配置（平成25年度中に169名の配置を目指す。）等の方策を着実に実施する。

### （2） 「審査に関する支部間差異解消のための検討委員会」の機能強化

○ 「審査に関する支部間差異解消のための検討委員会」の機能強化を図り、次のとおり、不合理な差異解消に努めることとする。

- ① 「審査に関する支部間差異解消のための中央検討委員会」に下部組織として「差異事例部会」を設置し、審査取決事項や審査決定の考え方を把握し、原審査及び再審査の結果を踏まえて分析する。
- ② その結果に基づいて、算定ルールの適用に係る差異については、不明確な事項に関する取扱いを整理し、厚生労働省への情報提供と協議を行うことにより、ルールの明確化及び見直しの要請を行う。
- ③ また、医学的判断に係る差異については、分析した状況を全支部の審査委員会で共有することにより医学的判断の収束を図る。

5

### 3 審査におけるPDCAサイクルの確立

### 4 保険者及び医療機関に対するサービスの向上

- 「オンラインによる請求前の資格確認」の普及に取組み、保険者からの資格関係誤りレセプトに係る再審査請求を減少させる。
- 電子レセプトを提出する医療機関及び電子レセプトを受け取る保険者を支援するため、オンラインでのデータの提供日程、コンピュータシステムの障害の発生状況等をメールで通知する。

### 5 診療報酬データの提供

- 関係者の様々なニーズを踏まえ、個人情報の取り扱いに十分留意しつつ、統一的な判断に基づき提供する。

### 6 レセプト電子データ提供事業の実施

### 7 地方単独医療費助成事業に係る審査支払業務の受託の拡大

- 支払基金に委託した場合のメリットや留意点を十分に理解いただいた上で支払基金に委託するよう働きかける。

6

## 第3 効率的な事業運営

- 民間法人としてコスト意識をもって効率的に事業を運営する観点から、次のとおり、取り組む。

### 1 効率的な事業運営のための基盤の整備

#### (1) 審査事務及び請求支払に係る業務フローの見直し

##### イ 医療機関に対するレセプトの電子化に向けた方策

- 電子レセプトの移行を猶予する期間が満了する医療機関に対しては、円滑に移行するよう働きかける。
- オンラインで電子レセプトを提出する医療機関には、返戻レセプトの再請求についてオンラインによる再請求を促進する。

##### ロ 公費負担医療の実施機関によるオンライン又は電子媒体での電子レセプト又は連名簿の受取りの促進

##### ハ 保険者に対する電子化に向けた方策

- オンラインで電子レセプトを受取る保険者については、オンラインによる請求関係帳票の受取り及び再審査請求を促進する。

#### (2) 診療報酬等の収納と迅速・適正な支払

7

### (3) 医療事務電算システムの機器更新

- 機器の老朽化に伴うトラブル回避、サービス向上計画に基づくコンピュータチェックの充実等に対応する処理性能及び拡張性を確保し、ITの進捗に的確に対応した最適化及び効率化を図るため、機器更新を実施する。
  - ① 平成24年度に調達したセンタサーバ及び支部中継サーバ等の設置
  - ② サーバOS等のバージョンアップに伴う業務アプリケーションの改修
  - ③ データの移行
- 手続きの透明性の向上を図るため、第三者による監査を実施する。
- 機器更新と並行して、次のことを検討する。
  - ① 業務プログラムの最適化を図るためのシステム刷新
  - ② 支部職員及び審査委員の意見を踏まえた、業務効率化に資するためのプログラム改修

8

### (4) 予算及び決算におけるPDCAサイクルの実施

- 平成24年度予算と平成24年度決算との異同に関する分析評価など、予算及び決算におけるPDCAサイクルを確実に実施し、その結果を平成25年度予算の執行及び平成26年度予算の編成に的確に反映する。

### (5) 会計・契約業務の見直し

- 支部の会計・契約事務を本部に更に集約するなど業務改善を行うとともに、予算と決算における詳細な異同の分析及び会計・契約業務の効率化を図ることを目的に、既存の会計・契約システムを見直す。

9

## 2 総コスト削減のための方策

### (1) 総コストの削減に向けた業務の改善のための取組み

- 職員一人ひとりの創意工夫に基づいて総コストの削減に向けた業務の改善のアイデアを競い合う取組みを継続する。
- コスト削減という目的はもとより、いかに仕事の方法、手順を工夫、改善（業務改善）するかという発想を重視する。

### (2) 職員定員の削減

- 一般会計の職員定員について、平成27年度には、4,310人となるよう、段階的に削減する。
- 平成25年度には、平成24年度と比較して▲125人に相当する4,559人となるよう削減する。

10

### (3) 給与水準の引下げ

- ラスパイレス指数については、支払基金サービス向上計画の目標どおり、平成27年度中を目途におおむね100.0となるよう、各年度における動向を見極めながら、必要な措置を講じる。

### (4) コンピュータシステム関連経費の縮減

- 新規のコンピュータシステムの開発及び機器等の調達について、一般競争入札により業者を選定する。

### (5) 支払基金保有宿舎の整理合理化

- 支払基金保有宿舎の整理合理化計画に基づき、市場の実勢をかんがみた適正な価格での売却を進める。  
具体的には、16棟59戸を売却予定とする。

11

### 3 総コストの削減に向けた数値目標

- 一般会計の支出について、平成27年度には、737.7億円以下を目指す。
- 平成25年度予算では、平成24年度予算と比較して▲1.4% (▲10.6億円)に相当する763.4<sup>注</sup>億円とする。

注: 機器更新経費79.4億円及び平成33年1月に予定しているシステム刷新経費をIT化推進経費積立預金へ計画的に繰入する経費24.2億円を除く。

### 4 手数料水準の引下げ

- 全レセプトの平均手数料について、平成27年度には、80.00円以下を目指す。
- その達成に向けて、平成25年度予算では、平成24年度予算と比較して▲2.2% (▲1.80円)に相当する81.70円とする。
- 出産育児一時金の支払及び調剤直接審査支払に伴う審査に関する意見の提出等の手数料については、それぞれ単独で収支均衡を図るとの考え方の下、業務実態等に合わせた見直しを行う。

12

## 第4 組織運営の改善充実 ～組織力の発揮と対外説明力の強化を目指して～

### 1 全国組織としてのメリットを活かす組織運営

- 全国組織としてのメリットを最大限発揮できるよう、組織運営について次のとおり一層の改善を図るとともに、各部門においてマネジメントを徹底する。
  - ① 本部関係部門からの適切な支部支援
  - ② 中核支部の果たす役割の強化
  - ③ 中小支部の内部組織の見直し改善

### 2 人材育成の推進

- 人事評価制度導入に向けた取組みを実施していくとともに、中央研修の充実、支部研修や自己啓発を行う職員を積極的に支援する環境作りを推進する。

13

### 3 ITガバナンスの確立

- 支払基金がITを効果的に活用して継続的に良質なサービスを提供していくため、次のとおり改善に取り組む。
  - ① 支払基金のIT利活用に関するプロセス(企画・開発・運用等)の標準化を進め、従来以上にガバナンスが効くように改善
  - ② システム開発時等のコストの適正化
  - ③ 中期的なIT人材の育成

### 4 災害対応を始めとする危機管理

- 平成24年度中にとりまとめた事業の継続に関する計画を着実に実施するとともに、内容の更なる充実及び残存する課題の解決に向けた取組みを継続する。

### 5 コンプライアンスの徹底

- 「コンプライアンスの手引き」の活用、「情報セキュリティポリシー」の厳格な運用等により、各職員へのコンプライアンスの更なる徹底を図る。

14

### 6 監査の実施

- 事業運営の透明性を確保するため、引き続き、内部監査及び監事監査のほか、公認会計士監査を実施する。

### 7 広報の強化・充実

- 次の広報活動を通じ、支払基金の取組みに関する広報を分かりやすく実施する。
  - ① 記者会見の開催
  - ② プレスリリースの実施
  - ③ ホームページの更新・充実
  - ④ 支払基金の事業運営に関する疑問への適切な対応
  - ⑤ 毎月の本部広報誌(「月刊基金」)の発行
  - ⑥ 本部・支部における報道機関の方との懇談会
  - ⑦ 支部単位での広報の実施
    - ・毎月の支部広報誌の発行
    - ・被保険者に向けた広報活動

15

## 8 関係者に対する説明力の強化

- 再審査等結果通知書又は増減点連絡書等による審査結果の連絡に係る照会等については、十分な理解が得られるよう的確な説明に努める。
- 各支部の「再審査相談窓口」のほか、本部においても「審査に関する苦情相談窓口」や「お客様の声」受付窓口で受け付けた照会等は、迅速かつ懇切丁寧に対応、それらの内容を組織的に共有、事業運営に的確に反映する。

## 9 査定に現れない審査の意義の見える化

- 支払基金の存在意義をわかりやすく説明するためには、査定に現れない審査の意義の見える化を図ることが重要であることから、返戻(DPCレセプトを含む。)を通じたレセプトの適正化の効果を定量的に示すため方策等について実施又は検討を進める。

16

## 10 医療保険制度に貢献する公的な役割

- レセプト電算処理システムの開発及び運用等、今後とも、診療報酬の審査支払の専門機関として蓄積されたノウハウを活かし、医療保険制度の基盤の整備、運用等に貢献していく。
- イ 医薬品の適応外使用の事例に関する取扱いの検討
- ロ 審査支払制度の見直しに関する提言
  - 保険者と医療機関との間で公正に事業を運営しなければならない独立の第三者として、必要に応じ、審査支払制度の見直しを厚生労働省に提言する。
- ハ 医療費に関する分析
  - 引き続き、審査支払機関として審査の充実を図るとともに、保険者及び医療機関を始めとする関係者のニーズに応えるため、医療費に関する分析に取り組む。

17

## 2 平成25事業年度一般会計 収入支出予算について

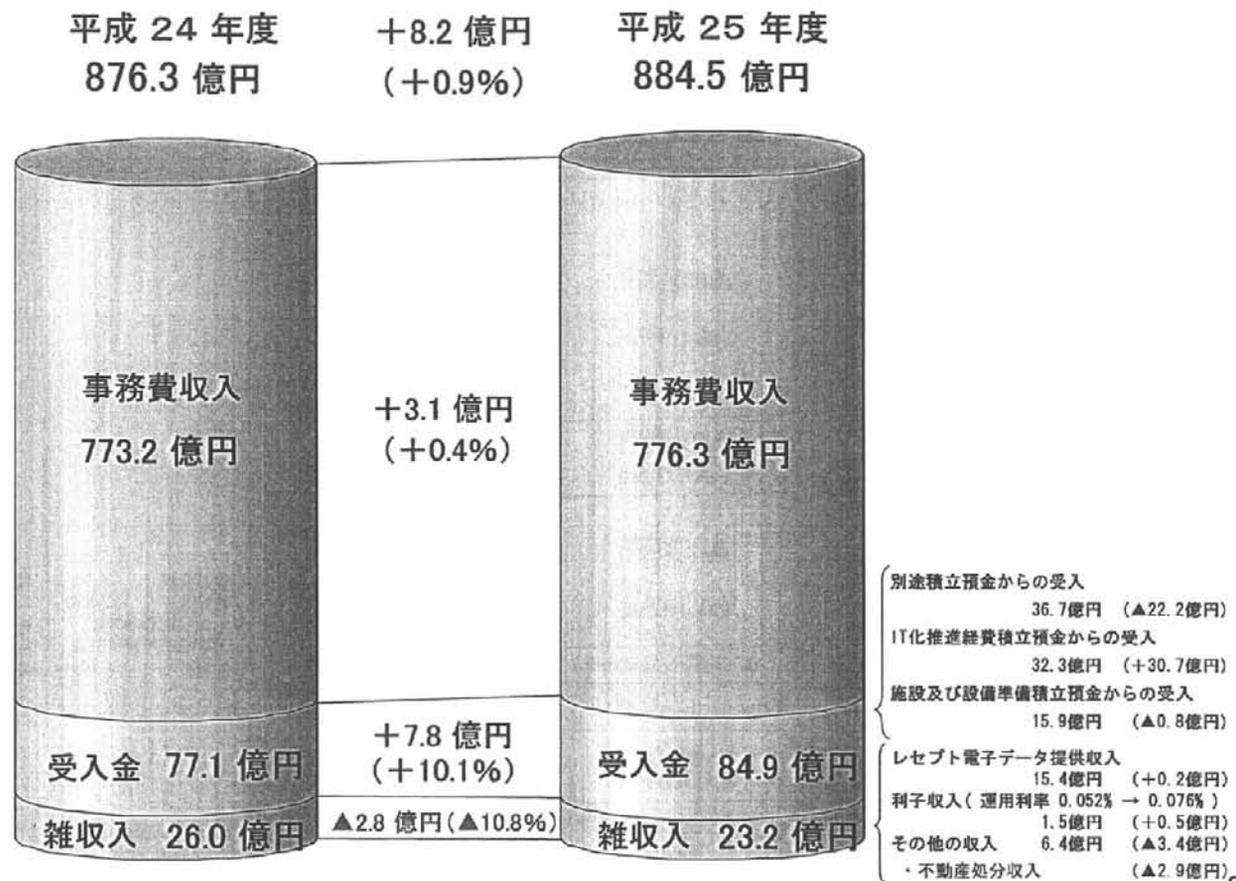
18

### 平成25事業年度 一般会計収入支出予算の基本的な考え方

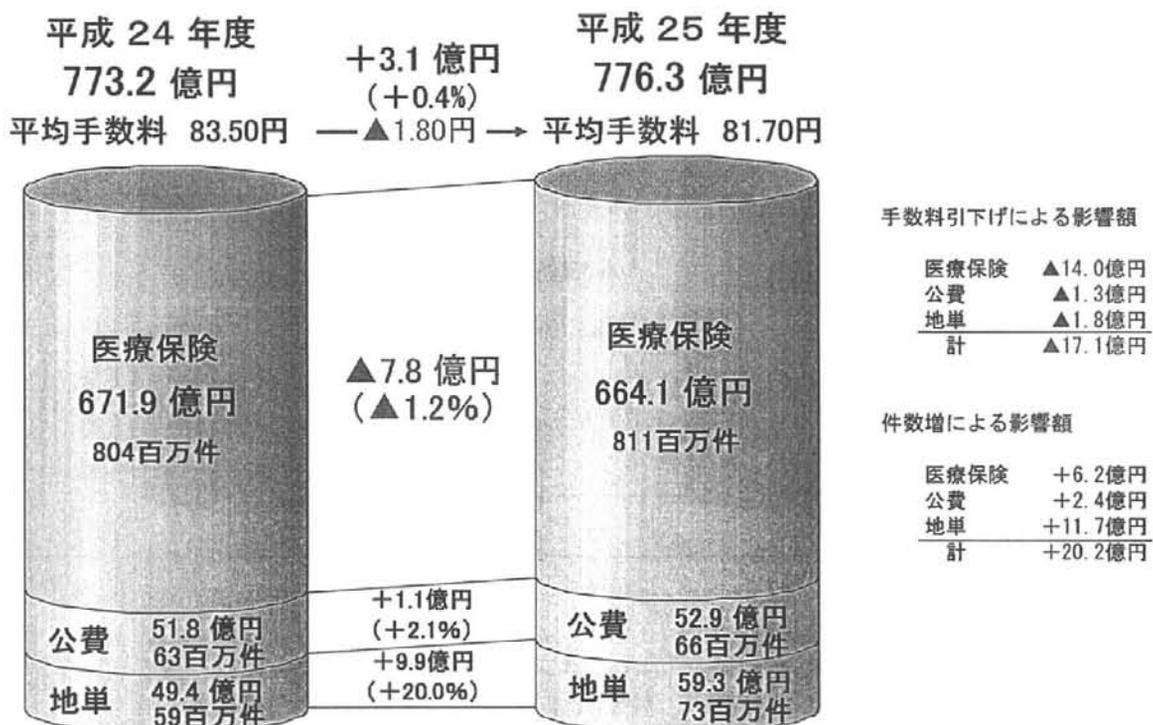
- 平成25事業年度は  
「支払基金サービス向上計画（平成23～27年度）」を踏まえて予算を編成  
事務費平均手数料81.70円、平成24年度と比べ ▲1.80円の引き下げ
- ① 必要経費の確保
  - ・システム機器更新経費を計上
  - ・システム刷新（平成32年度予定）経費としてIT化推進経費積立預金への繰入
  - ・更なる審査の充実に伴う医療顧問の増員経費を計上
  - ・電気設備等の更新として大規模修繕経費を計上
- ② 総コストの削減
  - ・人件費の削減  
職員定数の削減（▲125人）及び管理職ポスト等の削減
  - ・物件費の削減  
再審査のオンライン化に伴う臨時職員経費の減  
宿舍売却に伴う修繕経費の減等
- ③ 積立金の取り崩し
  - ・手数料水準の引下げを実現するため「別途積立預金」の全額を受入れ計上
  - ・機器更新経費として「IT化推進経費積立預金」から受入れ計上
  - ・電気設備等の更新として大規模修繕経費見合額を「施設及び設備準備積立預金」から受入れ計上

19

# 収入

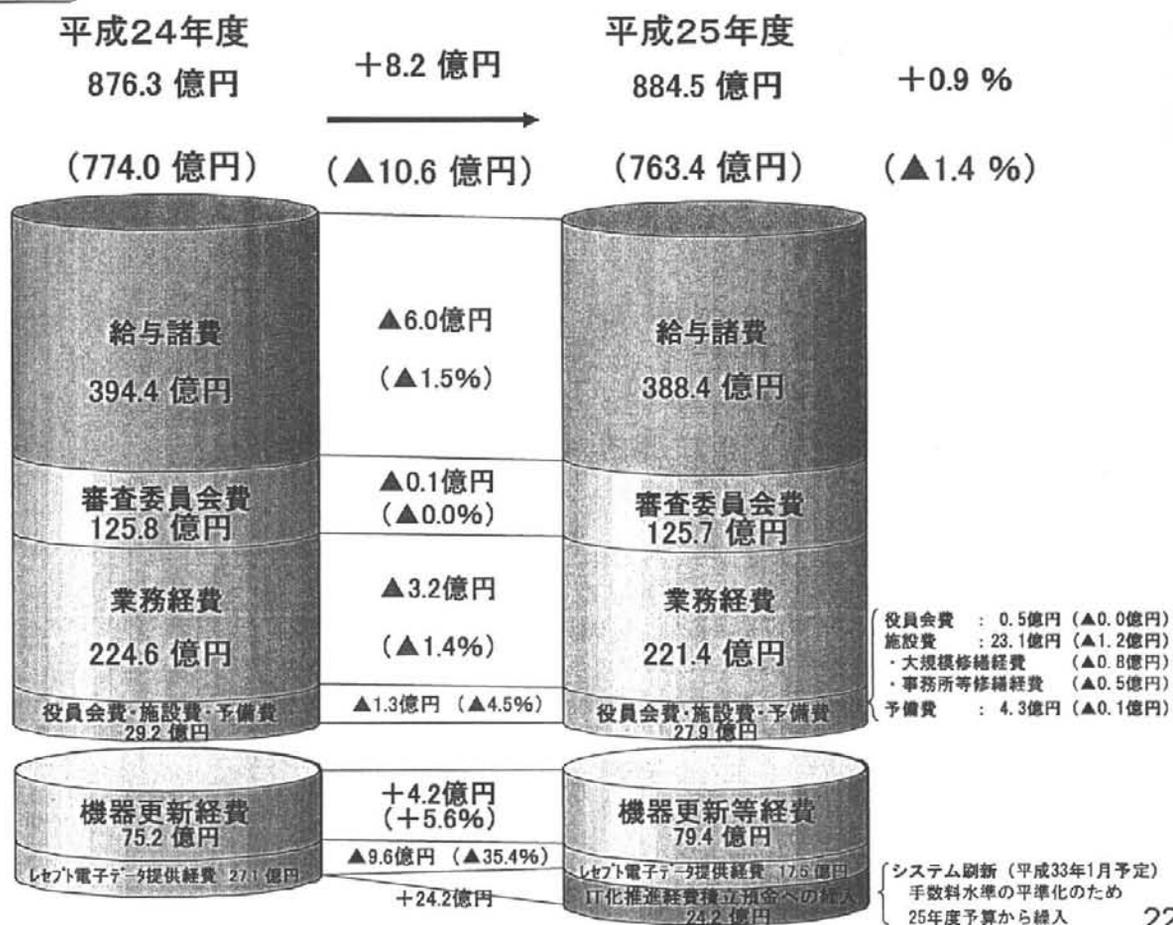


# 事務費収入

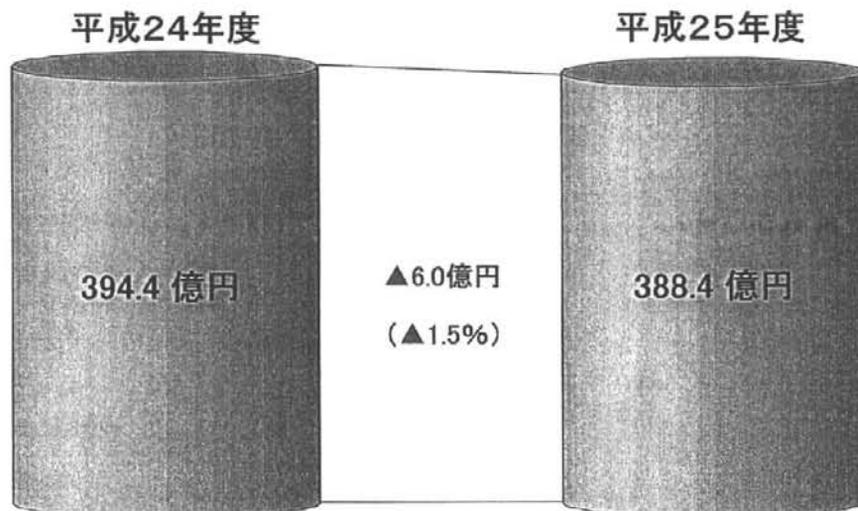


取扱見込件数は、平成21年度、22年度、23年度の対前年度伸び率の平均(1.5%増)を24年度実績見込件数に乗じて算出した。  
 なお、地単分については、平成25年度新規受託見込分を加えて算出した。

# 支出



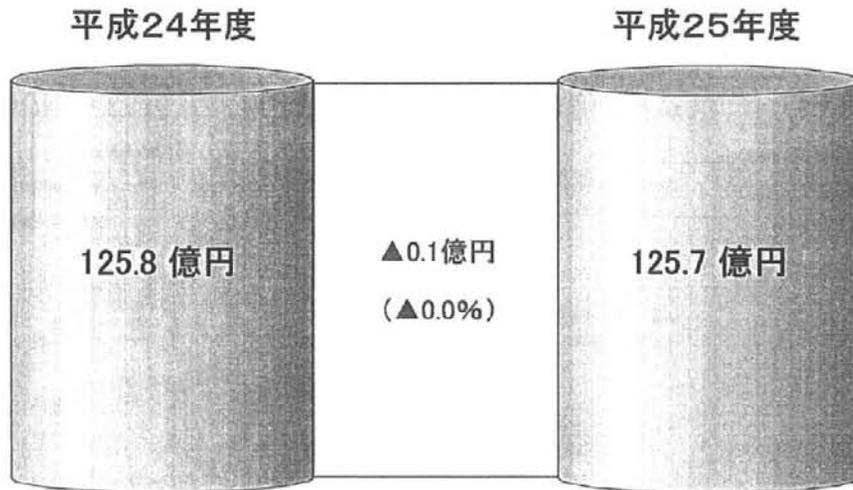
# 給与諸費



## ○ 6.0 億円減の内訳

- ・定員削減による減 (▲125人) .....▲10.4 億円
- ・管理職ポスト等削減による減 .....▲0.6 億円  
 (管理職ポスト等の削減 : 部長▲2、課長▲8、副長▲1、係長▲17、班長▲30)
- ・定期昇給等による増 .....+3.4 億円
- ・社会保険料率の変更による増 .....+1.5 億円  
 (厚生年金保険料・健康保険料)

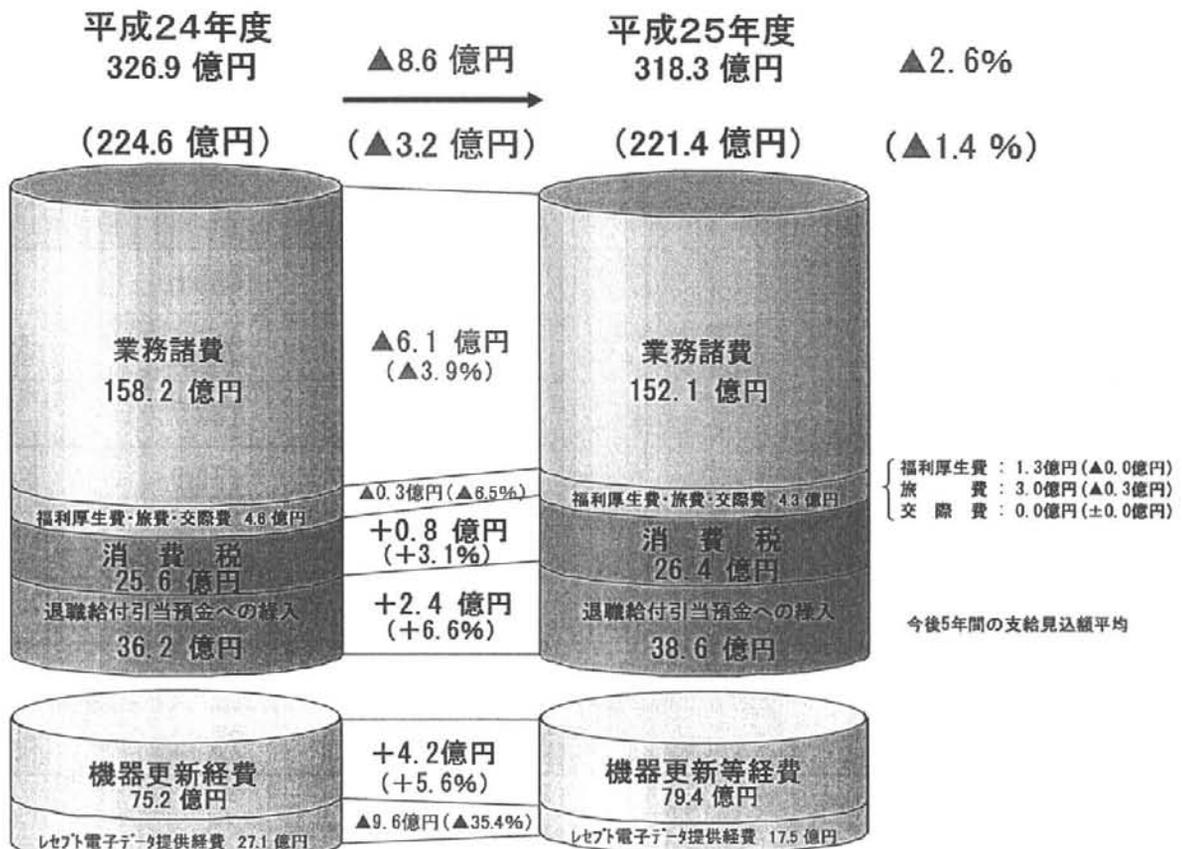
## 審査委員会費



### ○ 0.1億円減の内訳

- ・ 医療顧問採用(36人)等に伴う増 ..... +3.0億円
- ・ 調剤審査員従事人日増に伴う審査委員会手当の増 ..... +0.5億円  
(縦覧・突合点検実施に伴う調剤レセプトに係る審査等)
- ・ 一般審査委員の審査委員会出席率の反映による減 ..... ▲2.8億円
- ・ 審査参考図書の新規採入の減 ..... ▲0.8億円  
(診療報酬改定なし)

## 業務経費



## 業務諸費

平成24年度  
260.5 億円

平成25年度  
249.0 億円

▲11.5 億円

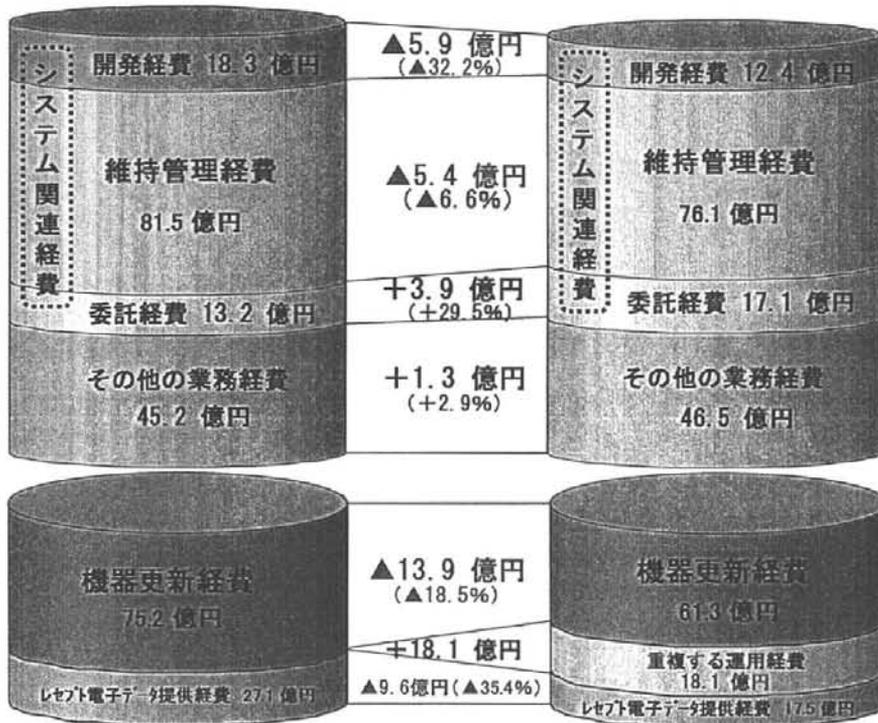
▲4.4%

(158.2 億円)

(▲6.1 億円)

(152.1 億円)

(▲3.9%)



- 開発経費内訳
- 審査(コンピュータチェック)の充実等 : 9.7億円
  - 保険者及び医療機関に対するサービスの向上 : 0.7億円
  - 地方単独医療費助成事業に係る受託拡大対応 : 2.0億円
- 維持管理経費内訳
- 機器使用料 : 23.2億円 (▲8.5億円)
  - 保守・運用経費 : 34.6億円 (+2.3億円)
  - 計算センター経費 : 18.3億円 (+0.8億円)
- 委託経費内訳
- 請求支払外部委託 : 12.2億円 (+6.5億円)
  - レプトプリント経費 : 1.8億円 (▲1.5億円)
  - システム機器撤去費用 : 0.2億円 (▲0.8億円)
  - その他委託 : 2.9億円 (▲0.3億円)
- その他の業務経費内訳
- 通信費 : 8.6億円
  - 事務用品等 : 5.1億円
  - 水道光熱費 : 5.8億円
  - 建物賃借料 : 9.0億円
  - 事務所維持管理経費 : 6.3億円
  - 公租公課 : 2.3億円
  - 臨時職員 : 4.9億円 など
- 機器更新に伴い重複する運用経費
- 機器更新経費 : ▲11.0億円
  - 提供件数の増加に伴う委託経費等の増 : +1.4億円

## 平成25年度における手数料収入とコスト構造の関係(見込み)

区分			全レセプト(950,358千件)		
			電子レセプト (881,498千件)	紙レセプト (68,860千件)	
現業業務	審査業務	コスト(億円)	506.0	459.5	47.5
		単価(円)	53.24	52.12	69.01
	請求支払業務	コスト(億円)	195.4	137.7	56.7
		単価(円)	20.56	15.62	82.31
管理業務		コスト(億円)	74.9		
		単価(円)	7.88		
全業務		コスト(億円)	776.3	—	—
		単価(円)	81.70	75.62	159.20

(注) 単価については、1銭未満の端数を切り捨てている。

### 3 平成 24 事業年度一般会計 (高齢者医療制度円滑導入勘定) 収入支出補正予算について

28

#### 高齢者医療制度円滑導入勘定について

① 趣旨

この措置は、70歳～74歳の被保険者又は被扶養者の療養に係る一部負担金等の1割相当額を国が被保険者等に代わって支払うために設けられた軽減特例措置である。

なお、支払基金はこの軽減特例措置を実施するため、円滑導入基金（財源は全額国庫補助）を設置し、その用途の経理を高齢者医療制度円滑導入勘定で行っている。

② 軽減特例措置期間

平成20年度に特例措置として設けられた措置であったが、毎年度、国の補正予算により、軽減特例措置の延長が続いている。

③ 各年度の円滑導入基金の補正予算状況

平成20年度(当初)	181億円
平成20年度補正(1次補正1月交付時)	232億円
平成20年度補正(2次補正3月交付時)	118億円
平成21年度補正(2次補正3月交付時)	257億円
平成22年度補正(補正2月交付時)	257億円
平成23年度補正(4次補正3月交付時)	232億円
平成24年度補正(補正3月交付予定)	267億円

29

# 平成24事業年度補正予算(案)

平成24年度当初予算

平成24年度補正予算

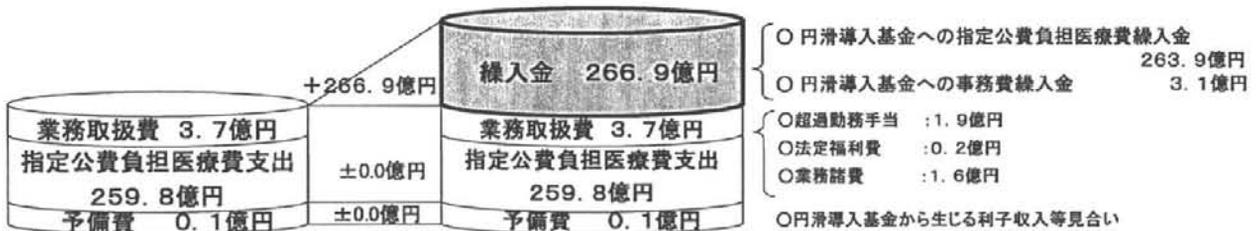
## 収入額

263.6億円  $\xrightarrow{+266.9億円}$  530.5億円



## 支出額

263.6億円  $\xrightarrow{+266.9億円}$  530.5億円

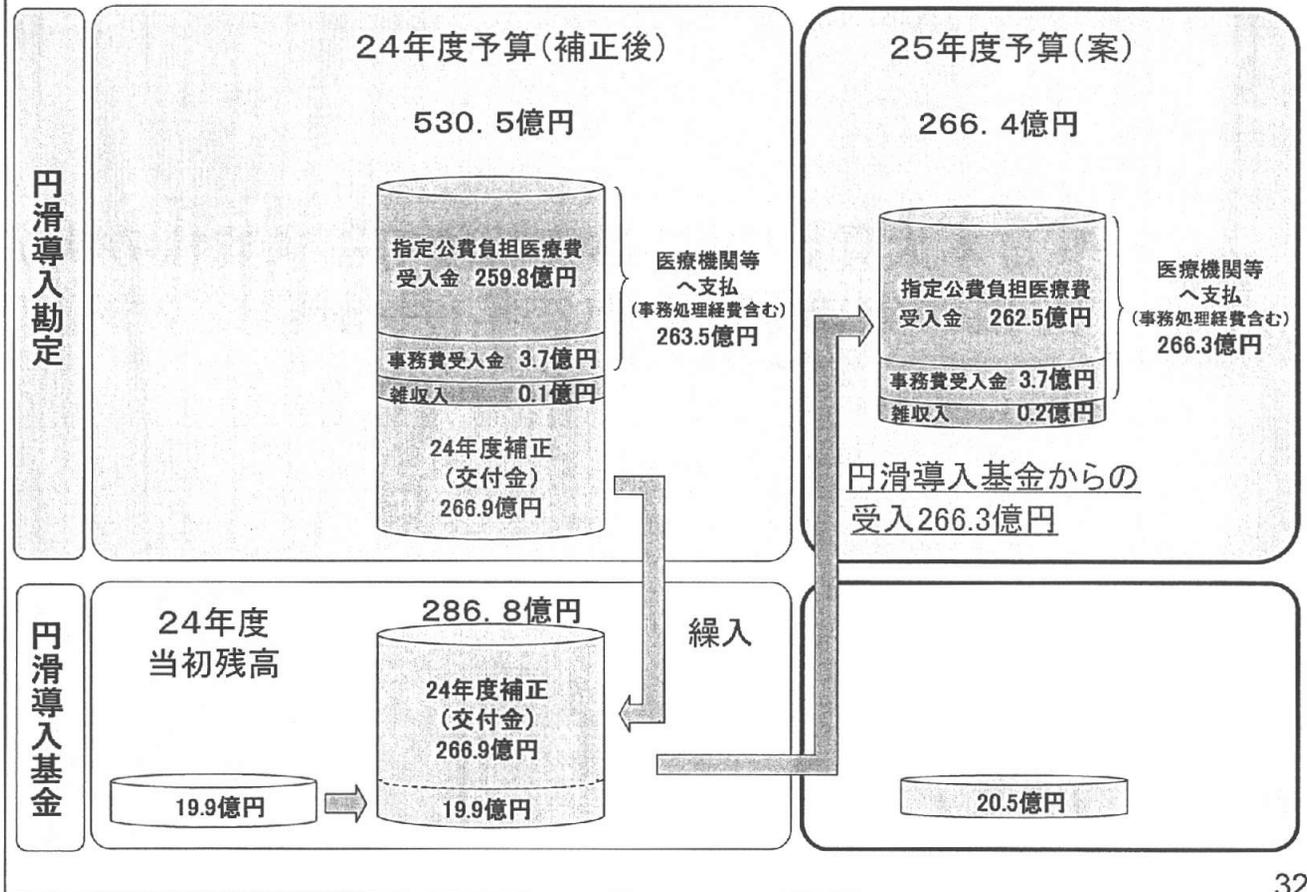


30

## 4 平成25事業年度一般会計 (高齢者医療制度円滑導入勘定) 収入支出予算について

31

# 高齢者医療制度円滑導入勘定のしくみ



# 平成25事業年度予算(案)

平成24年度予算(補正後)

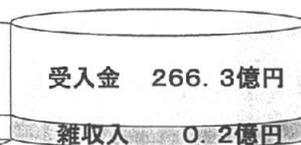
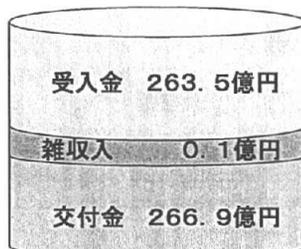
平成25年度予算

**収入額**

530.5億円

▲264.1億円

266.4億円



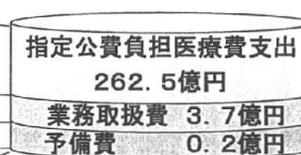
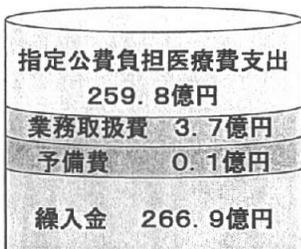
- 円滑導入基金からの指定公費負担医療費受入金: 262.5億円(+2.8億円)
- 円滑導入基金からの事務費受入金: 3.7億円(+0.0億円)
- 円滑導入基金から生じる利息収入の増(+0.1億円)

**支出額**

530.5億円

▲264.1億円

266.4億円



- 超過勤務手当: 1.8億円(▲0.1億円)
- 法定福利費: 0.2億円(▲0.0億円)
- 業務諸費: 1.7億円(+0.1億円)
- 円滑導入基金から生じる利息収入等見合いの増(+0.1億円)

※百万単位四捨五入

## 5 東日本大震災に伴う診療報酬等請求支払の状況 (平成24年12月診療分(25年1月処理分))について

34

### 平成24年12月診療分(平成25年1月処理)の状況

#### 1 受付件数

82,856千件 (対前年同月比 4.6%増)  
(対前々年同月比 6.1%増)

なお、震災の被災地である福島県は4.2%増(4.6%増)※、  
岩手県は0.1%減(1.7%増)※、宮城県は3.6%減(3.8%増)※。

※( )内の数値は、対前々年同月比の数値である。

2 一部負担金支払免除(猶予)レセプト支払確定件数  
: 86,656件 (前月比 1.3%増)

3 未確定レセプトの支払確定件数 : 11件

35

## 平成24年12月診療分(平成25年1月処理)の受付状況

(単位:千件、%)

	合計※	医科	歯科	調剤	前年同月比(伸び率) * ( )内は、前々年同月比				
					合計	医科	歯科	調剤	
全国計	82,856	45,854	9,993	26,958	(6.1) 4.6	(4.9) 4.0	(4.5) 2.7	(8.9) 6.3	
被災3県	03 岩手	723	391	84	247	(1.7) ▲ 0.1	(0.4) ▲ 0.6	(1.8) ▲ 0.3	(3.8) 0.8
	04 宮城	1,450	783	174	493	(3.8) ▲ 3.6	(2.2) ▲ 4.4	(6.7) ▲ 2.0	(5.6) ▲ 2.9
	07 福島	1,206	669	135	402	(4.6) 4.2	(2.5) 3.8	(4.1) 3.8	(8.4) 5.1

※「合計」欄の数値は、訪問及び審査のみを含む数値である。

36

## 東日本大震災に係るレセプトの支払確定状況

レセプト種別	一部負担金支払免除(猶予)レセプト		未確定レセプト		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
平成23年度計 (4月(3月診)~3月(2月診))	3,754,515	56,185,636	12,267	154,720	3,766,782	56,340,356	
平成24年度	4月(3月診)	460,852	6,455,954	6	39	460,858	6,455,993
	5月(4月診)	433,168	5,955,005	10	122	433,178	5,955,127
	6月(5月診)	446,779	6,273,360	102	413	446,881	6,273,773
	7月(6月診)	464,619	6,506,567	8	141	464,627	6,506,708
	8月(7月診)	461,961	6,746,445	2	8	461,963	6,746,453
	9月(8月診)	454,799	6,711,363	18	206	454,817	6,711,569
	10月(9月診)	511,267	7,475,616	6	30	511,273	7,475,646
	11月(10月診)	90,094	1,430,679	33	405	90,127	1,431,084
	12月(11月診)	85,558	1,277,290	4	22	85,562	1,277,312
	25年1月(12月診)	86,656	1,254,012	11	94	86,667	1,254,106
合計	7,250,268	106,271,927	12,467	156,200	7,262,735	106,428,127	

※ 一部負担金支払免除(猶予)レセプトの件数及び金額は、災1レセプト及び災2レセプトの合計である。

37

## 平成25年1月診療分(平成25年2月処理)の受付状況

(単位:千件、%)

	合計※	医科	歯科	調剤	前年同月比(伸び率) *( )内は、前々年同月比				
					合計	医科	歯科	調剤	
全国計	79,371	44,199	9,322	25,798	(4.8) 4.6	(3.5) 4.0	(4.4) 1.7	(7.2) 6.6	
被災3県	03 岩手	705	383	82	239	(1.9) 2.1	(0.5) 2.0	(2.1) ▲ 1.6	(4.2) 3.5
	04 宮城	1,393	756	163	473	(▲ 0.2) ▲ 0.6	(▲ 2.0) ▲ 0.6	(4.5) ▲ 7.7	(1.3) 2.2
	07 福島	1,166	650	126	390	(2.9) 4.3	(0.9) 4.3	(3.1) 0.2	(6.4) 5.8

※「合計」欄の数値は、訪問及び審査のみ分を含む数値である。

38

## 6 保険診療と審査を考えるフォーラムの開催結果について

39

## 「保険診療と審査を考えるフォーラム」の開催結果

### 開催目的

- 「支払基金」、その中でも「審査委員会」が機能することによって、国民皆保険が支えられていることやその担う役割(存在意義)について、国民に向けて発信していくこと。(広報活動)

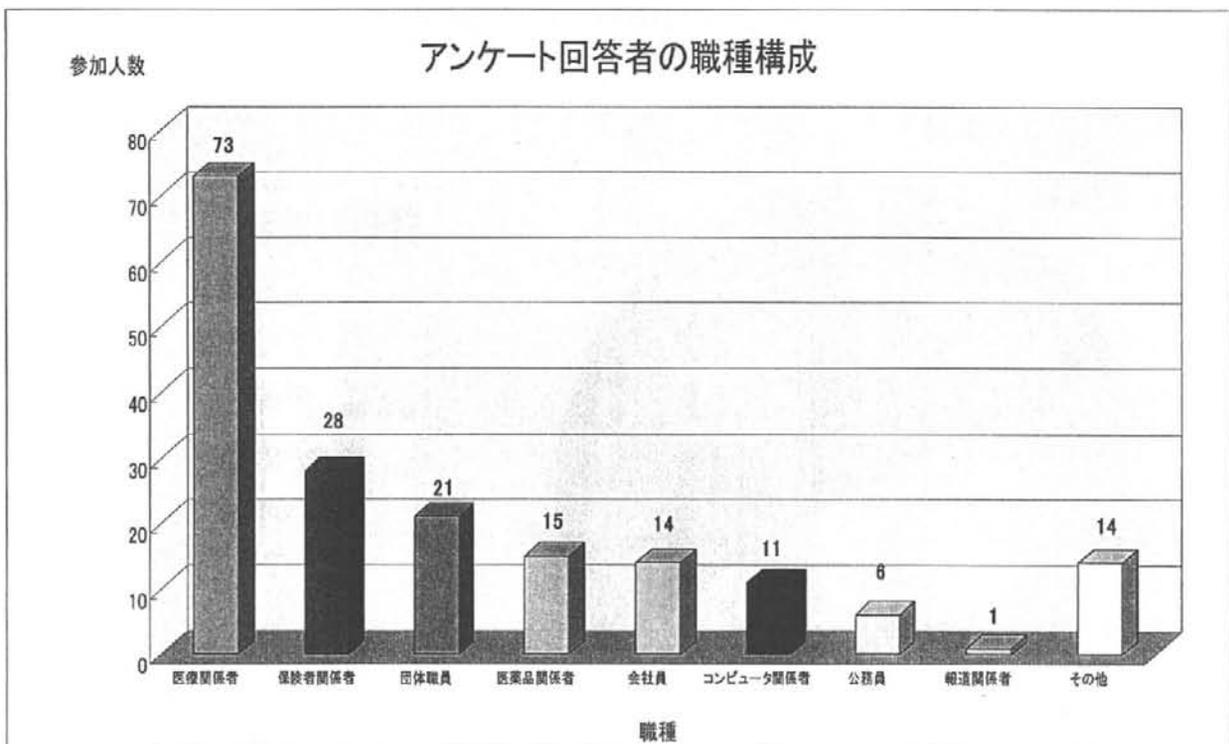
### 開催概要及び参加状況

- 開催日時 平成25年2月5日(火)  
13時～15時30分
- 開催場所 大手町サンケイプラザ(東京都)
- 開催内容 基調講演  
パネルディスカッション  
パネル展示

参加区分	参加人数
一般参加 ※(募集定員150名)	198名
報道関係	30名
関係団体等	76名
※ 審査委員	140名
合 計	444名

40

### アンケート結果



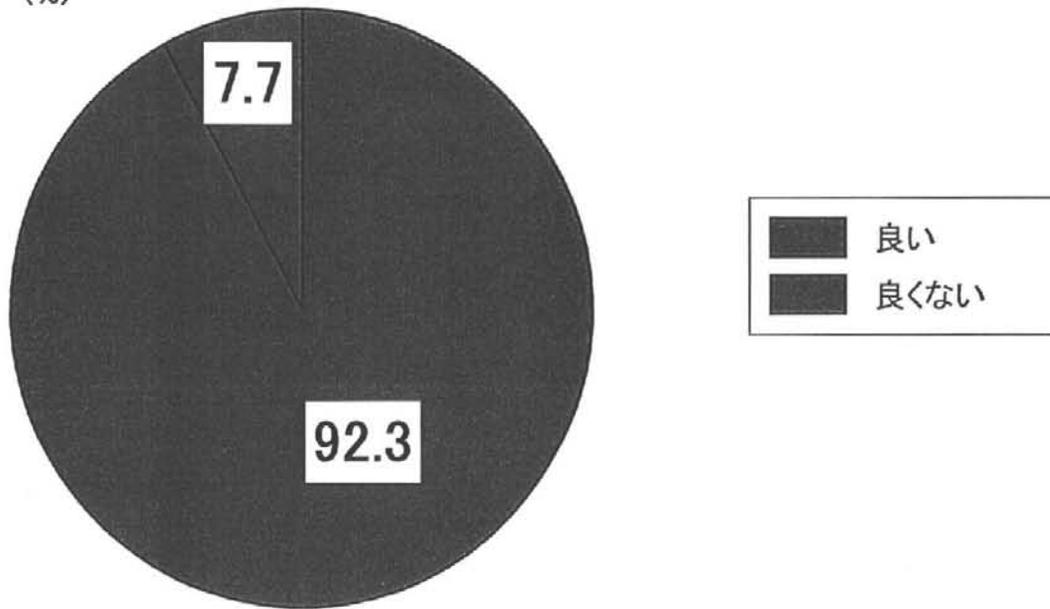
※ アンケート回収率 60.2%(除く審査委員)

【その他にご回答いただいた方の職種】  
行政・国保審査委員・医療経営コンサルタント

41

1 初めて、支払基金として公開シンポジウムを開催しましたが、こうした機会を設けたことをどのように思われますか。

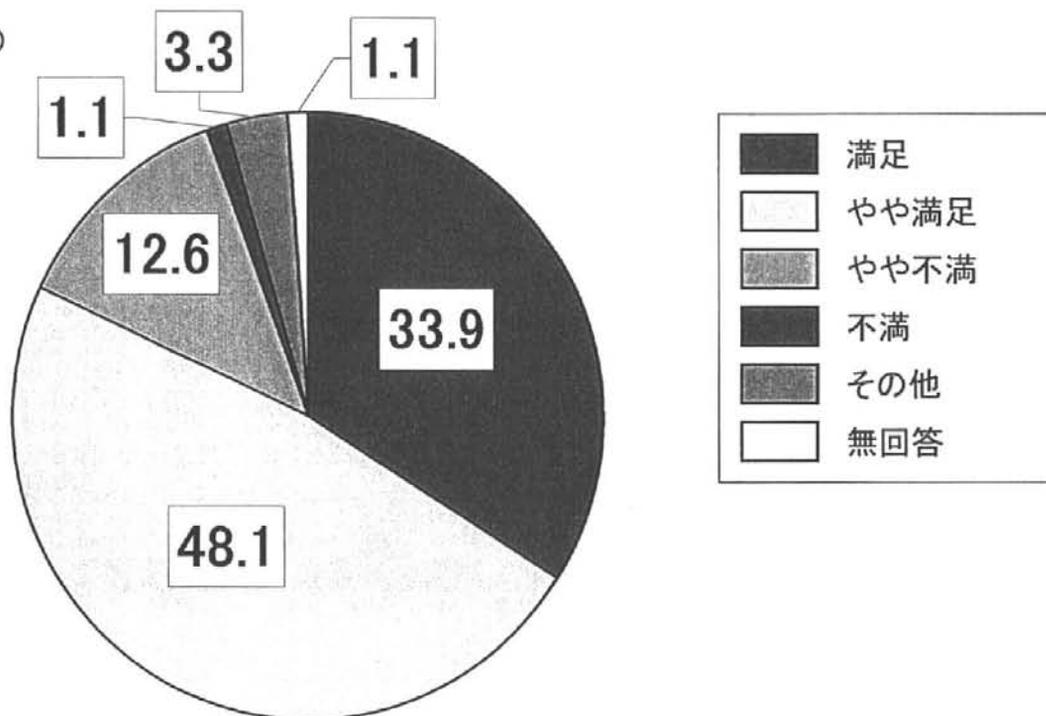
(%)



42

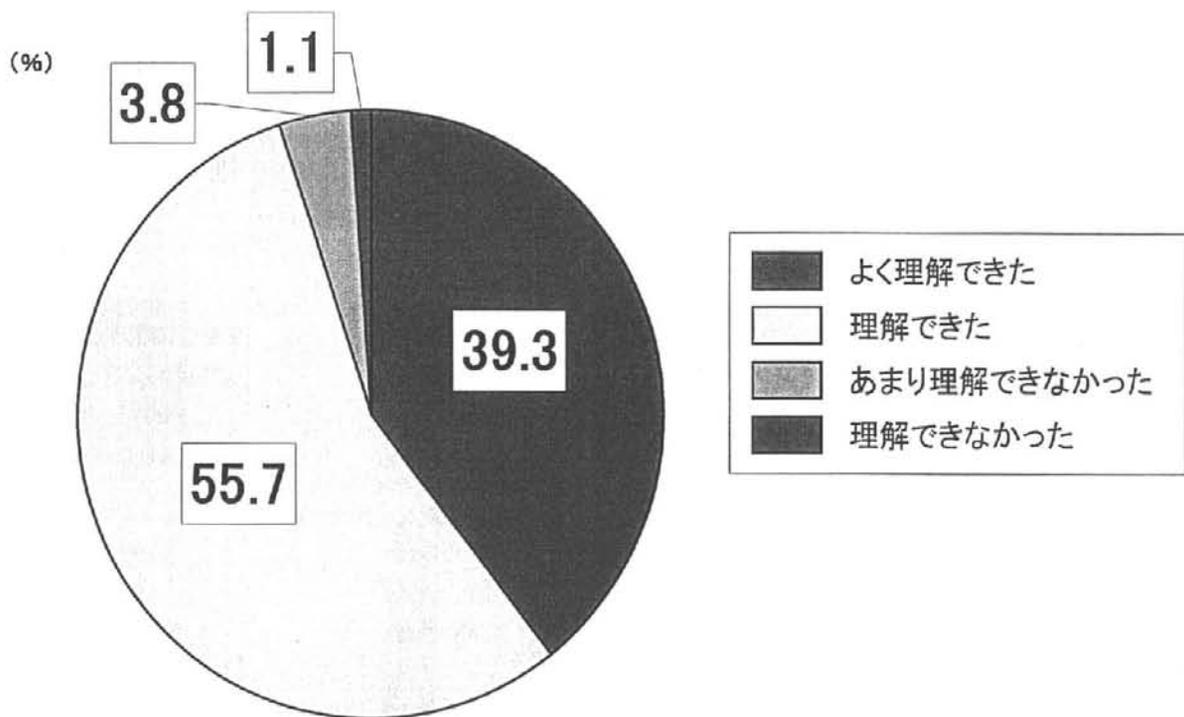
2 今回のフォーラムの内容全般について、どのように感じましたか。

(%)



43

3 パネルディスカッションについてご理解いただけましたか。



7 支払基金における審査状況  
(平成24年12月審査分)について

## 平成24年12月審査分の審査状況

原審査の状況

医科歯科計(全管掌分)

- ・前年同月に比べ、請求件数、請求点数ともに若干の増加
- ・前年同月に比べ、査定件数（単月点検分）、査定点数（単月点検分）ともに若干減少

### 件数

請求件数(A) 5,339万件 (104.1%)

査定件数(B) 58.4万件 (117.2%)

単月点検分 49.1万件 (98.5%)

突合点検分 6.4万件

縦覧点検分 2.9万件

査定件数率((B)/(A)×100) 1.094% (112.5%)

単月点検分 0.920% (94.6%)

突合点検分 0.120%

縦覧点検分 0.054%

### 点数

請求点数(C) 988億8,659万点 (102.8%)

査定点数(D) 2億5,109万点 (112.7%)

単月点検分 2億2,125万点 (99.3%)

突合点検分 2,093万点

縦覧点検分 890万点

査定点数率((D)/(C)×100) 0.254% (109.6%)

単月点検分 0.224% (96.6%)

突合点検分 0.021%

縦覧点検分 0.009%

注1 突合点検に係る査定件数・点数には医科(歯科)レセプトと調剤レセプトを照合した結果、査定となった調剤レセプトの件数及び点数を含んでいる。

注2 縦覧点検分には入外点検分を含んでおり、入外点検分の査定件数は4.8千件、査定点数は77万点である。

注3 図中の(%)は対前年同月比である。

参考：調剤レセプトの請求件数 2,597万件  
請求点数 237億3,730万点

46

## 平成24年12月審査分の審査状況

原審査の状況

医科計(全管掌分)

- ・前年同月に比べ、請求件数、請求点数ともに若干の増加
- ・前年同月に比べ、査定件数（単月点検分）、査定点数（単月点検分）ともに若干減少

### 件数

請求件数(A) 4,396万件 (105.0%)

査定件数(B) 55.0万件 (118.3%)

単月点検分 46.2万件 (99.4%)

突合点検分 6.3万件

縦覧点検分 2.4万件

査定件数率((B)/(A)×100) 1.251% (112.7%)

単月点検分 1.051% (94.7%)

突合点検分 0.144%

縦覧点検分 0.056%

### 点数

請求点数(C) 874億6,874万点 (103.3%)

査定点数(D) 2億4,714万点 (112.8%)

単月点検分 2億1,787万点 (99.4%)

突合点検分 2,088万点

縦覧点検分 839万点

査定点数率((D)/(C)×100) 0.283% (109.1%)

単月点検分 0.249% (96.2%)

突合点検分 0.024%

縦覧点検分 0.010%

注1 突合点検に係る査定件数・点数には医科レセプトと調剤レセプトを照合した結果、査定となった調剤レセプトの件数及び点数を含んでいる。

注2 縦覧点検分には入外点検分を含んでおり、入外点検分の査定件数は4.7千件、査定点数は78万点である。

注3 図中の(%)は対前年同月比である。

47

# 平成24年12月審査分の審査状況

原審査の状況

歯科計(全管掌分)

- ・前年同月に比べ、請求件数は若干増加、請求点数は若干減少
- ・前年同月に比べ、査定件数(単月点検分)は10%強の減少、査定点数(単月点検分)は若干減少

件数	
請求件数(A)	944万件(100.4%)
査定件数(B)	3.4万件(101.8%)
単月点検分	2.9万件(86.5%)
突合点検分	0.1万件
縦覧点検分	0.5万件
査定件数率((B)/(A)×100)	0.364%(101.4%)
単月点検分	0.309%(86.1%)
突合点検分	0.006%
縦覧点検分	0.049%

点数	
請求点数(C)	114億1,785万点(98.9%)
査定点数(D)	395万点(109.0%)
単月点検分	339万点(93.4%)
突合点検分	5万点
縦覧点検分	51万点
査定点数率((D)/(C)×100)	0.035%(110.2%)
単月点検分	0.030%(94.5%)
突合点検分	0.000%
縦覧点検分	0.004%

注1 突合点検に係る査定件数・点数には歯科レセプトと調剤レセプトを照合した結果、査定となった調剤レセプトの件数及び点数を含んでいる。  
 注2 縦覧点検分には入外点検分を含んでおり、入外点検分の査定件数は0.06万件、査定点数は1万点である。  
 注3 図中の(%)は対前年同月比である。

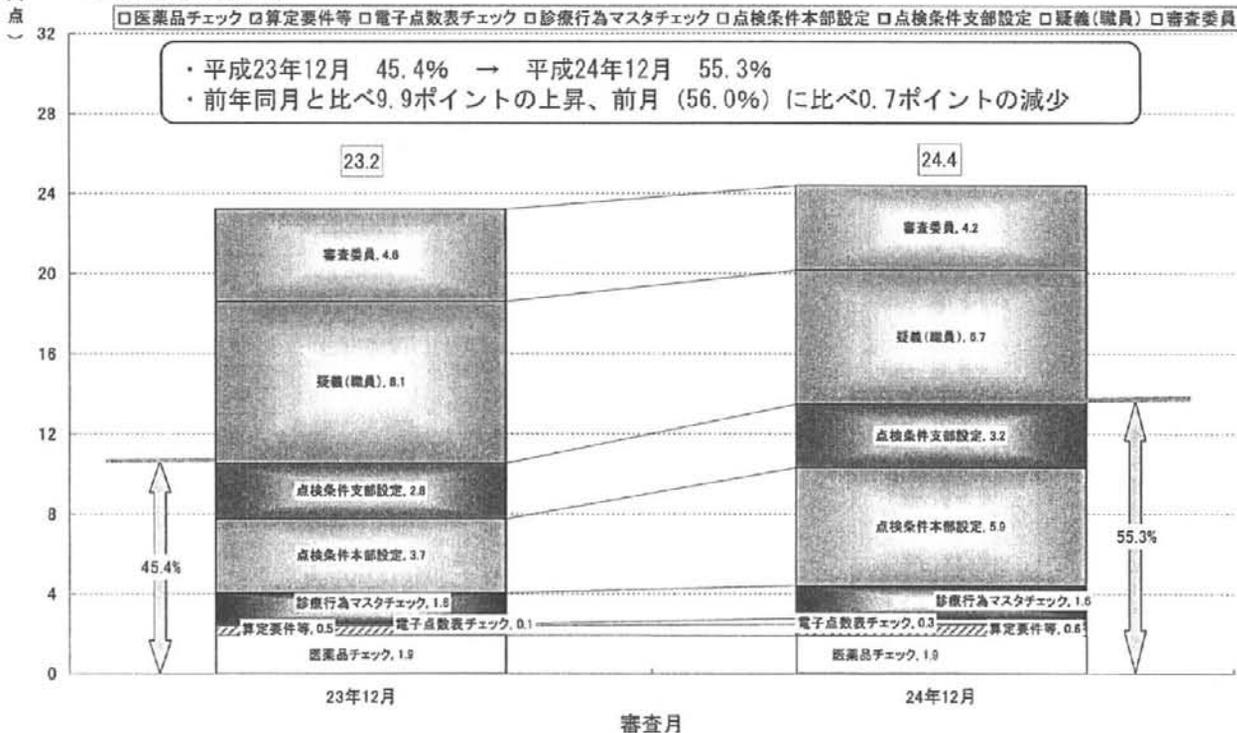
# 平成24年12月審査分の請求1万点当たり原審査査定点数におけるコンピュータチェックの効果(単月点検分)

医科電子レセプト

【特別審査委員会分を含む】

□医薬品チェック □算定要件等 □電子点数表チェック □診療行為マスタチェック □点検条件本部設定 □点検条件支部設定 □疑義(職員) □審査委員

- ・平成23年12月 45.4% → 平成24年12月 55.3%
- ・前年同月と比べ9.9ポイントの上昇、前月(56.0%)に比べ0.7ポイントの減少



## 平成24年12月審査分の審査状況

DPCレセプトの原審査における  
審査返戻状況

電子レセプト

・受付件数は10%弱の増加、返戻件数は若干の減少、返戻件数率は10%弱の減少

件数		点数	
受付件数(A)	384,560件 (107.3%)	受付点数(C)	208億3,697万点 (111.0%)
審査返戻件数(B)	4,396件 (98.7%)	審査返戻点数(D)	5億2,733万点 (107.6%)
審査返戻件数率 (B)/(A)×100	1.143% (92.0%)	審査返戻点数率 (D)/(C)×100	2.531% (96.9%)

※( )内は対前年同月比

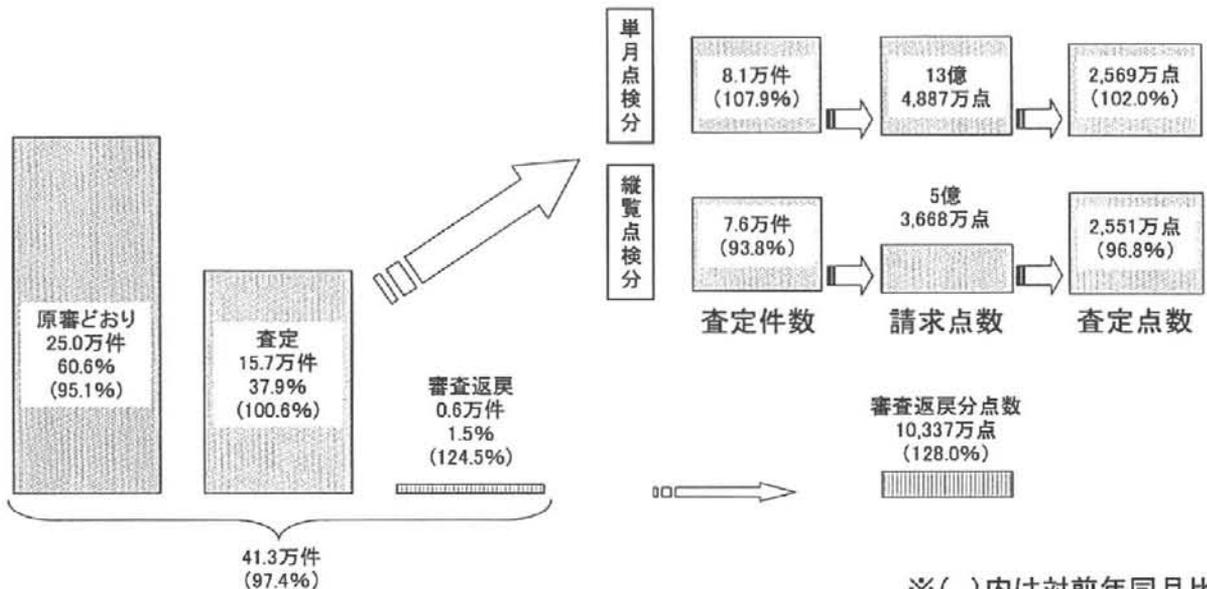
50

## 平成24年12月審査分の審査状況

再審査等の状況

保険者による申し出

- ・前年同月と比べ、申し出件数は若干減少
- ・単月点検分は、査定件数・査定点数ともに若干増加
- ・縦覧点検分は、査定件数・査定点数ともに若干減少



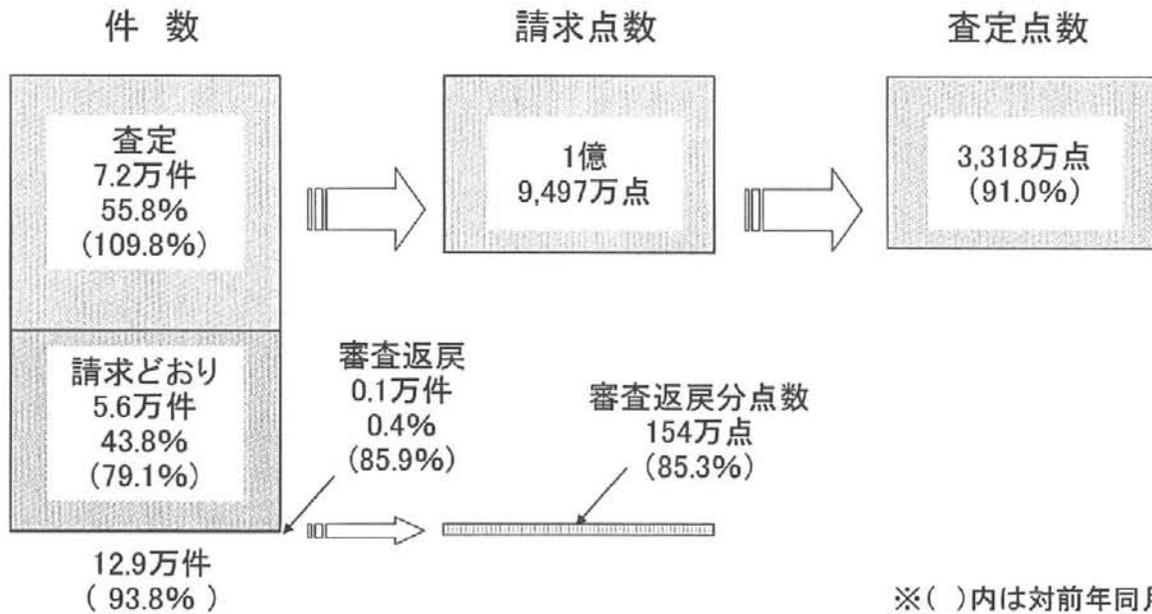
51

## 平成24年12月審査分の審査状況

再審査等の状況

保険者による突合再審査の申し出

・申し出件数は若干減少、査定件数は10%弱の増加、査定点数は10%弱の減少



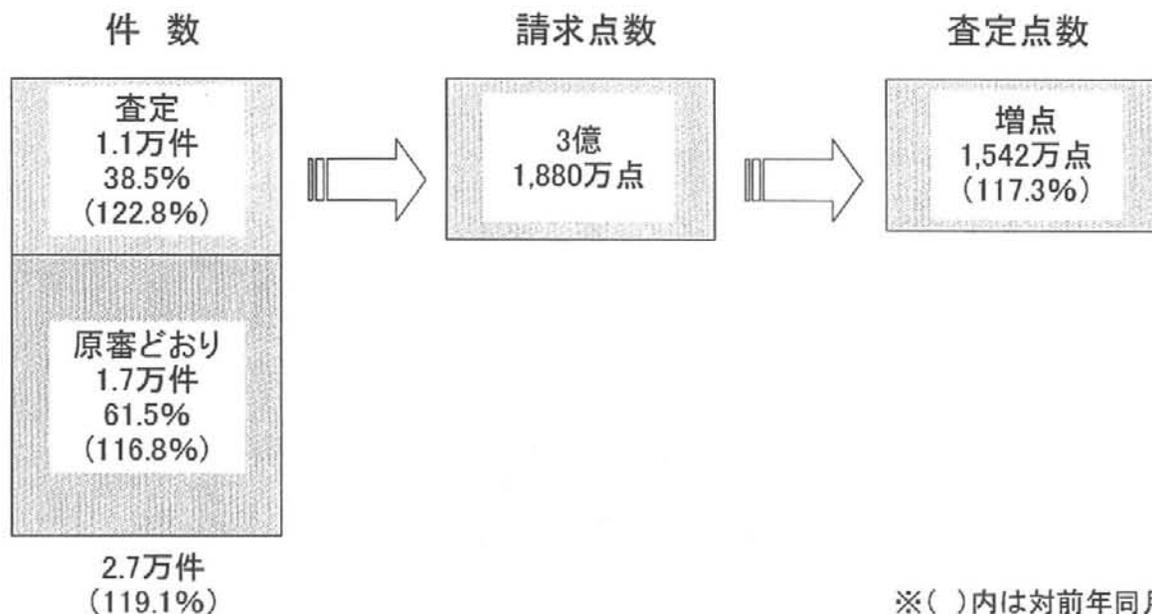
52

## 平成24年12月審査分の審査状況

再審査等の状況

医療機関による申し出

・申し出件数、査定件数は20%前後の増加、査定点数（増点）は20%弱の増加



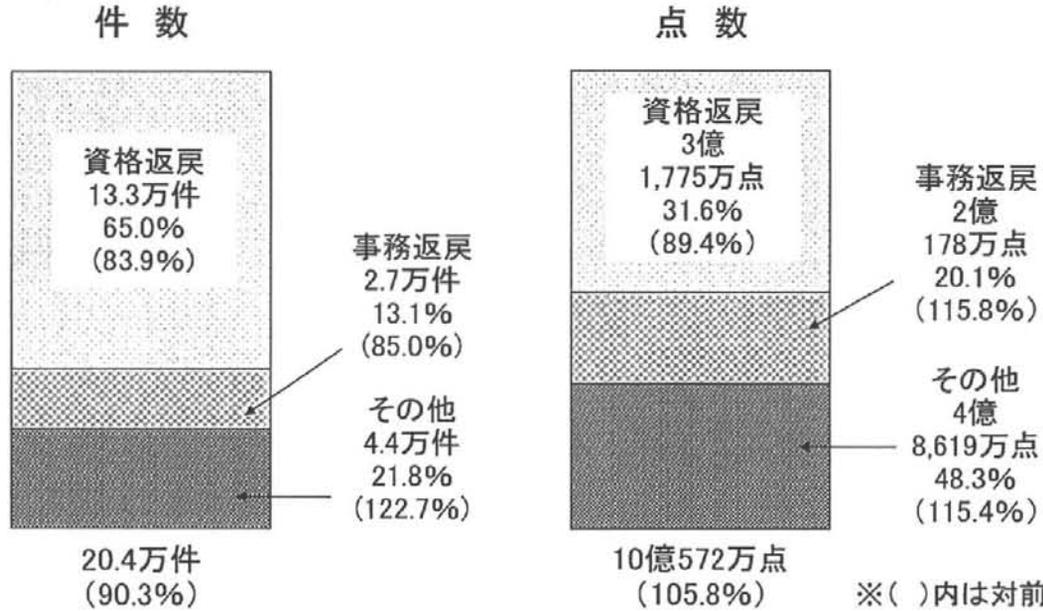
53

# 平成24年12月審査分の審査状況

## 再審査等の状況

保険者による資格返戻等の申し出

・申し出件数は10%弱の減少、資格返戻件数、事務返戻件数ともに10%以上の減少



### 図1 請求1万点当たり原審査・再審査査定点数(単月点検)の月別推移

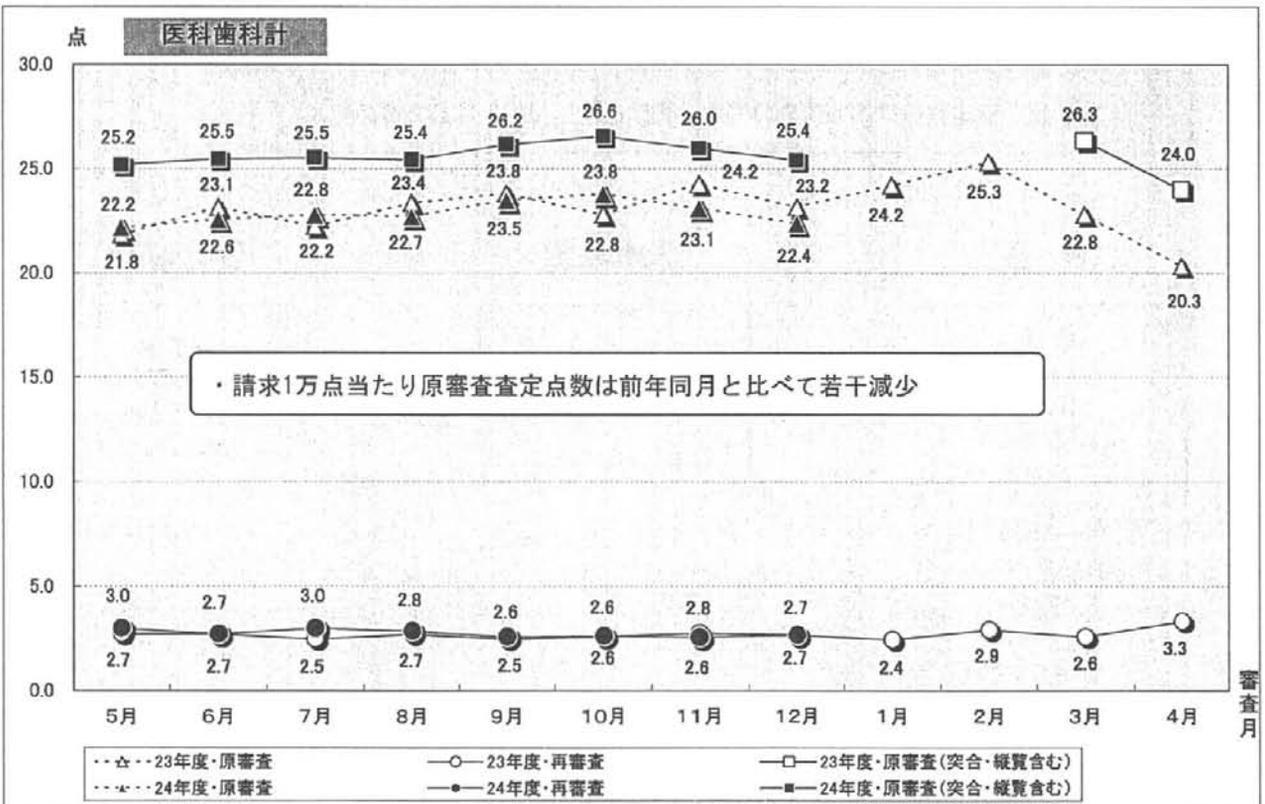


図1-2 請求1万点当たり原審査・再審査査定点数(単月点検)の月別推移

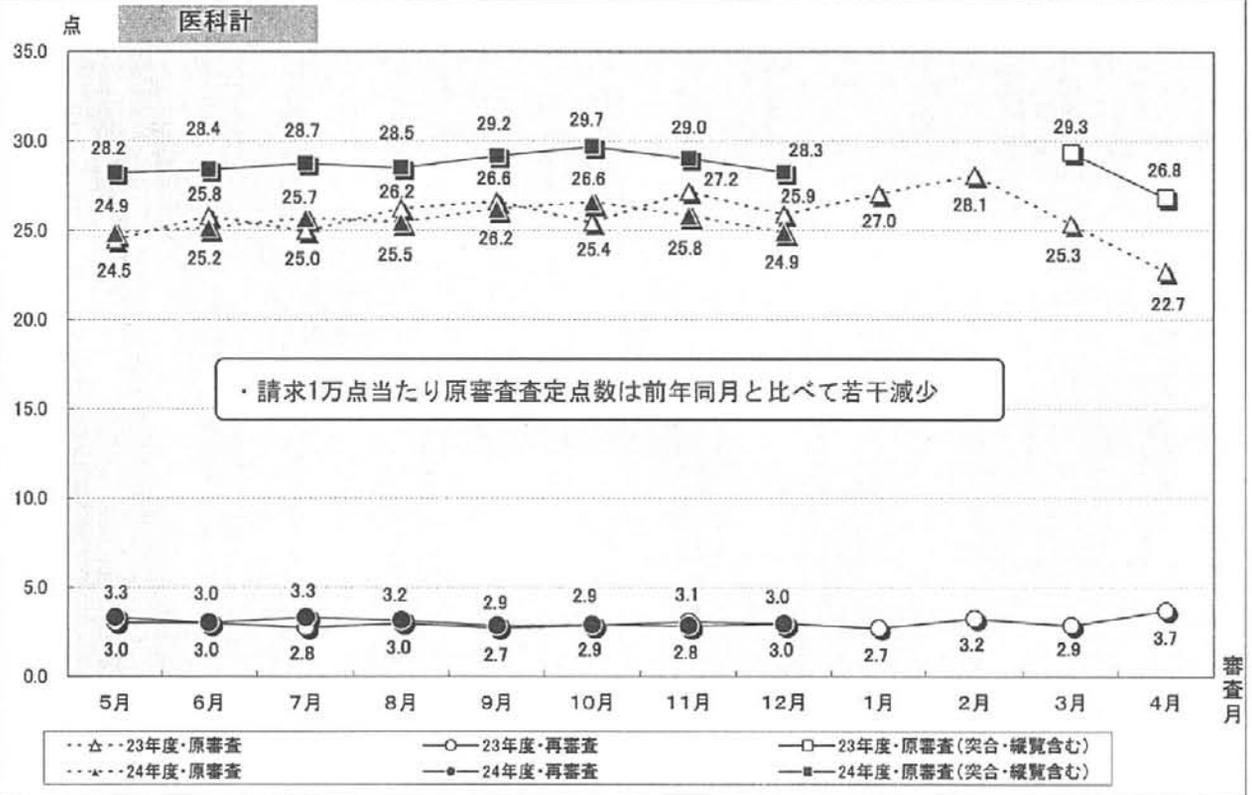


図1-3 請求1万点当たり原審査・再審査査定点数(単月点検)の月別推移

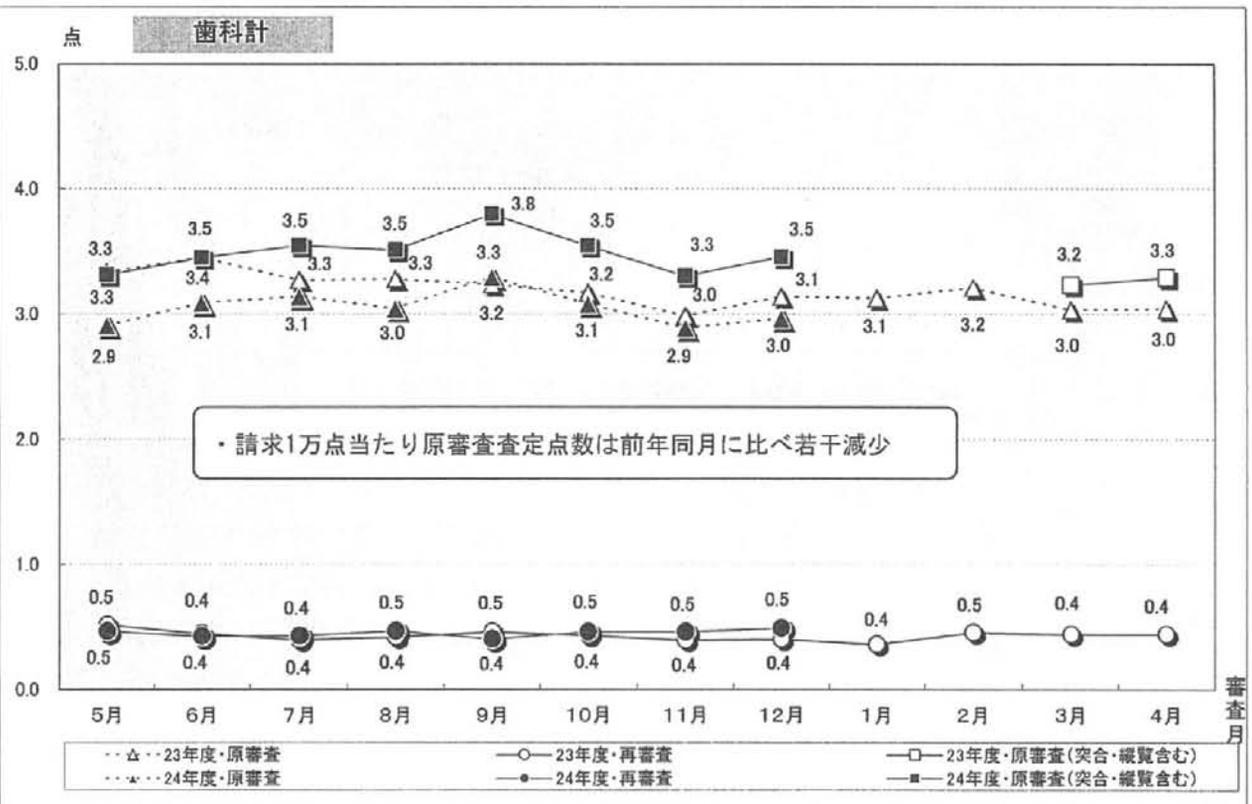


図2 DPC電子レセプトの原審査における審査返戻件数率の月別推移

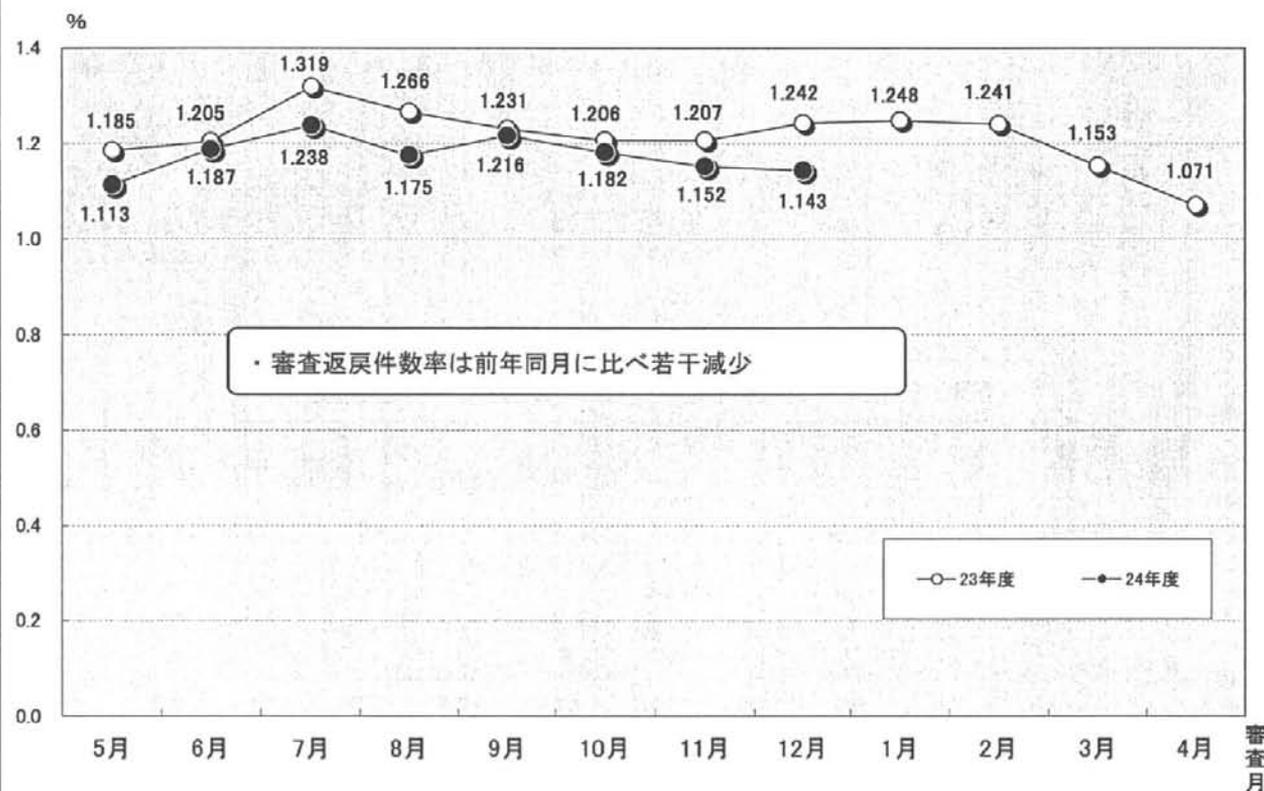


図2-2 DPC電子レセプトの原審査における請求1万点当たり審査返戻点数の月別推移

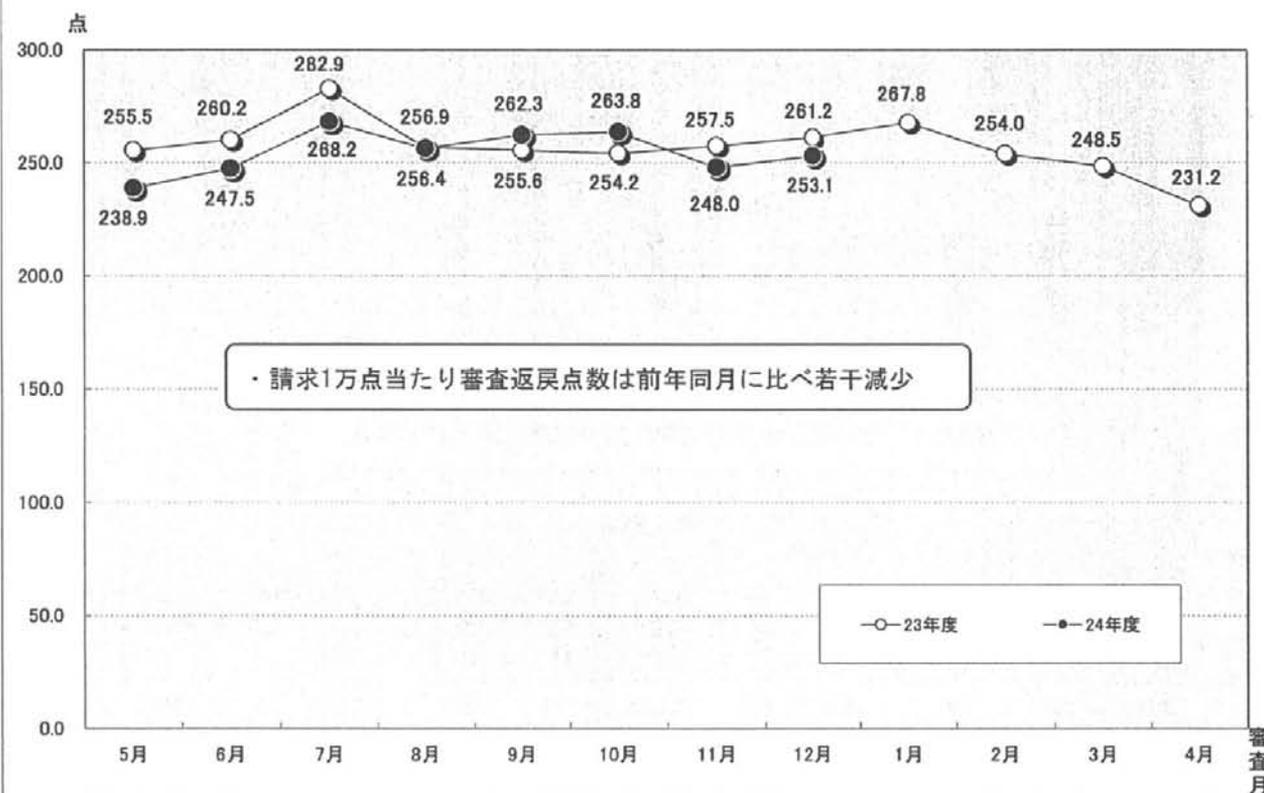


図3 再審査査定割合(見落とし率)の月別推移

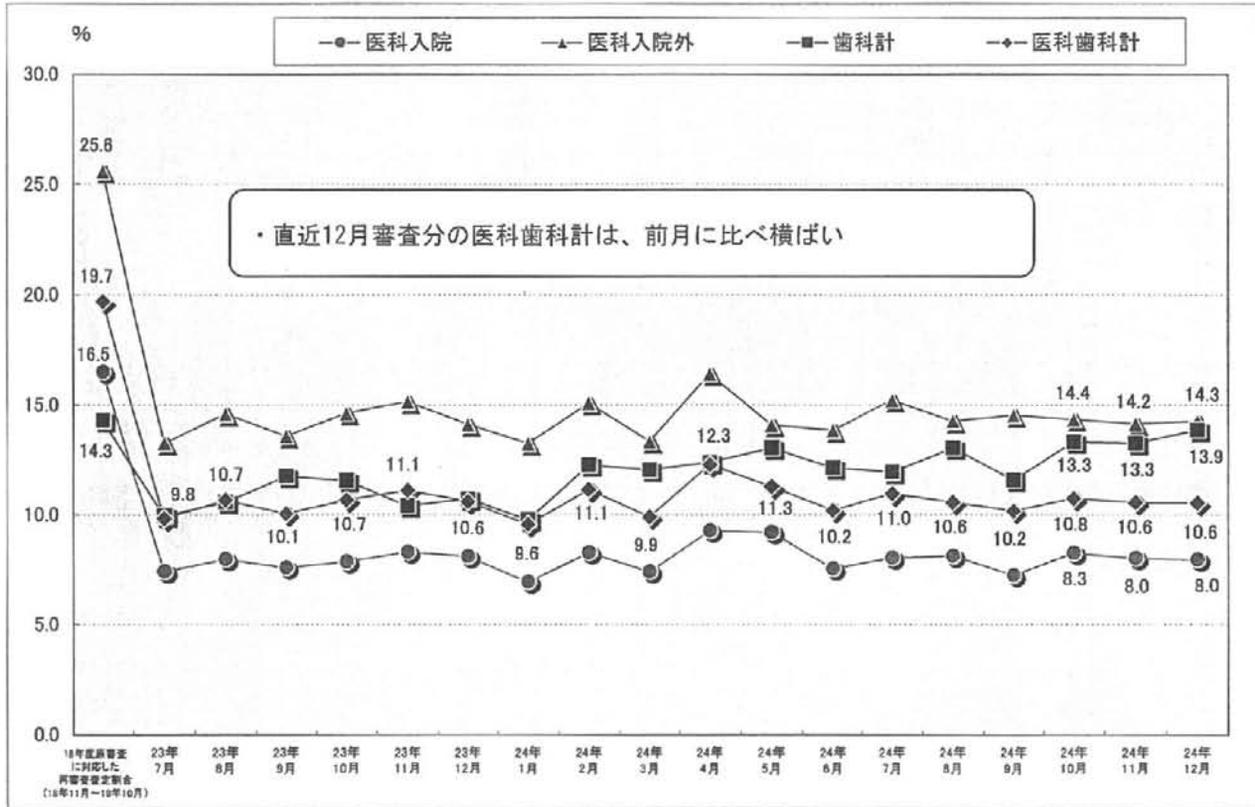


図4 請求1万点当たり再審査査定点数(制度別状況)

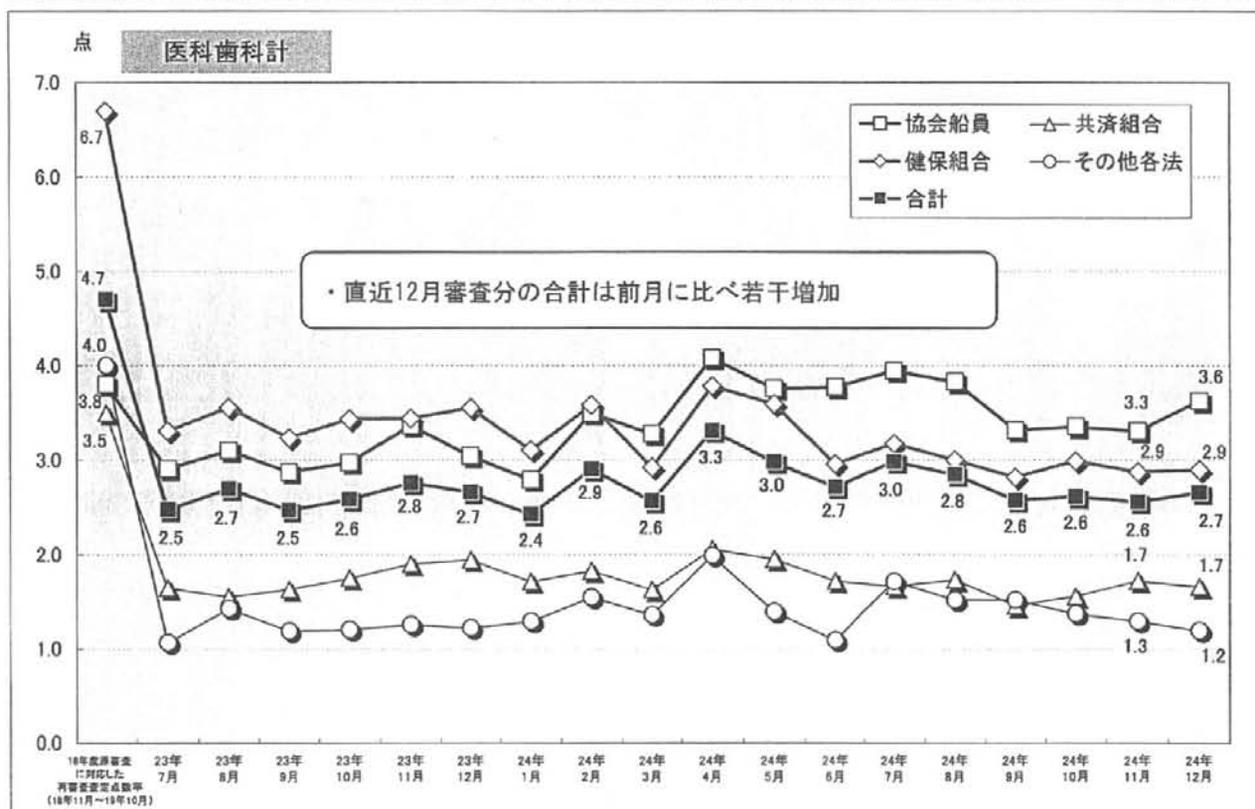


図5 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定件数率(単月点検)の状況

医科歯科計

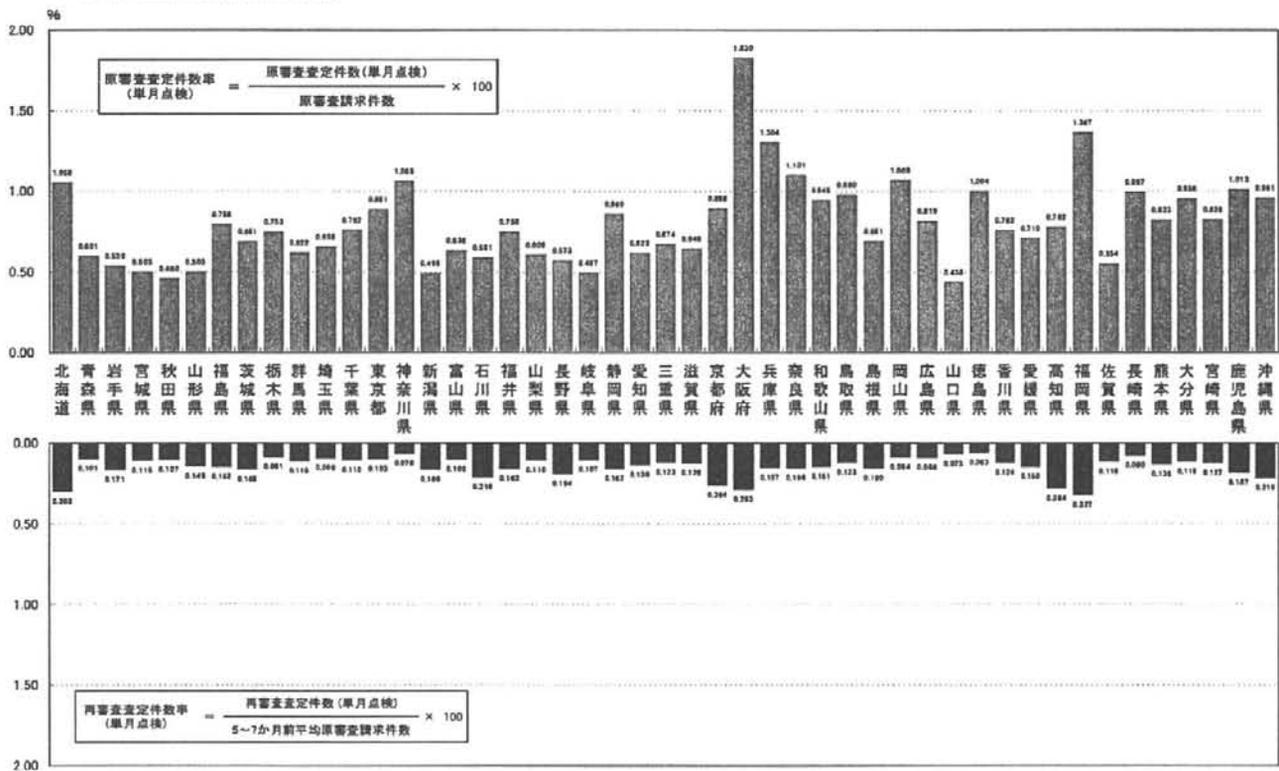


図5-2 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定件数率(単月点検)の状況

医科歯科計

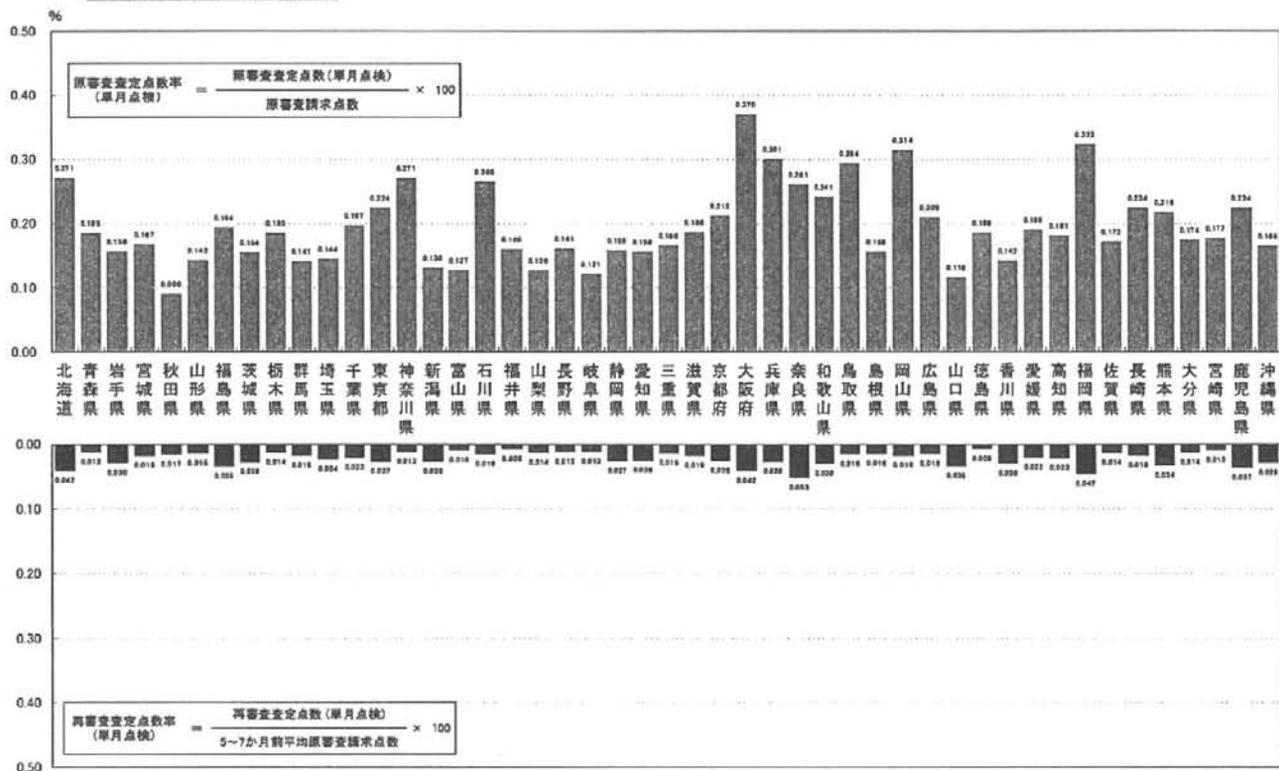


図5-3 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定件数率(単月点検)の状況

医科計

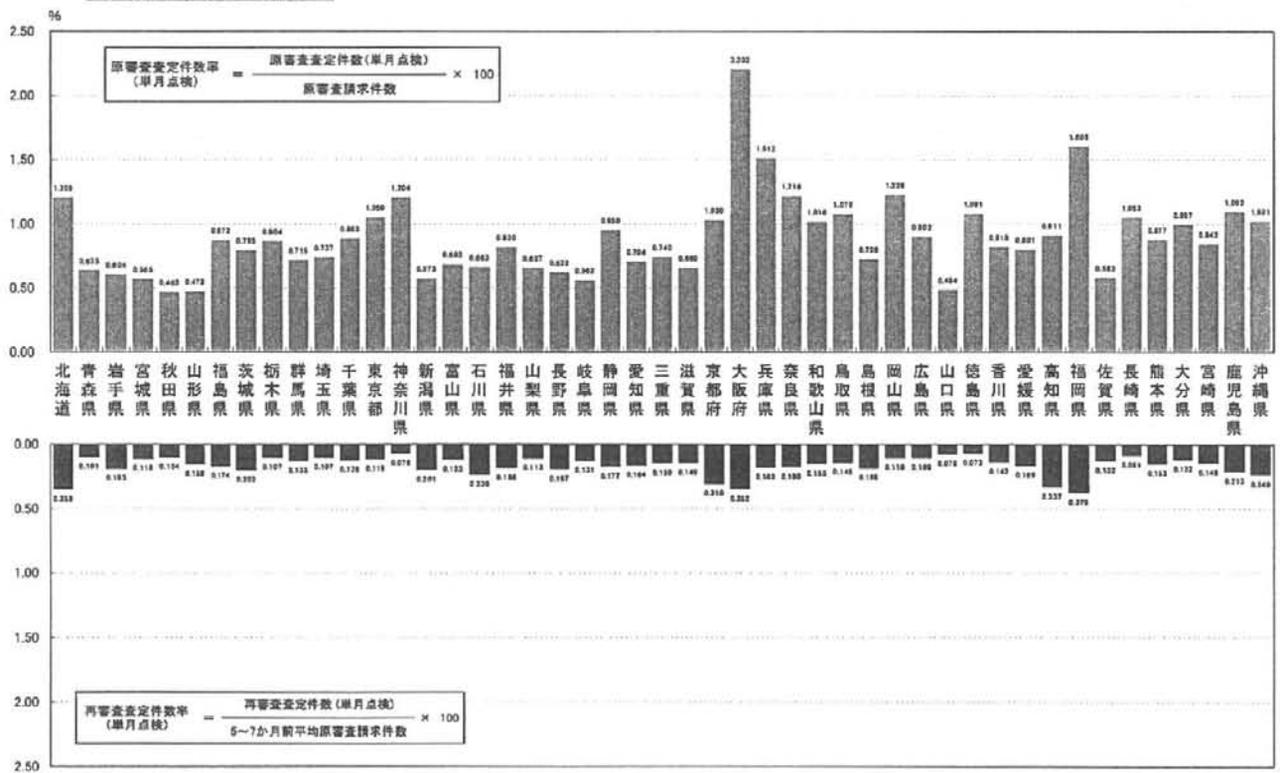


図5-4 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定点数率(単月点検)の状況

医科計

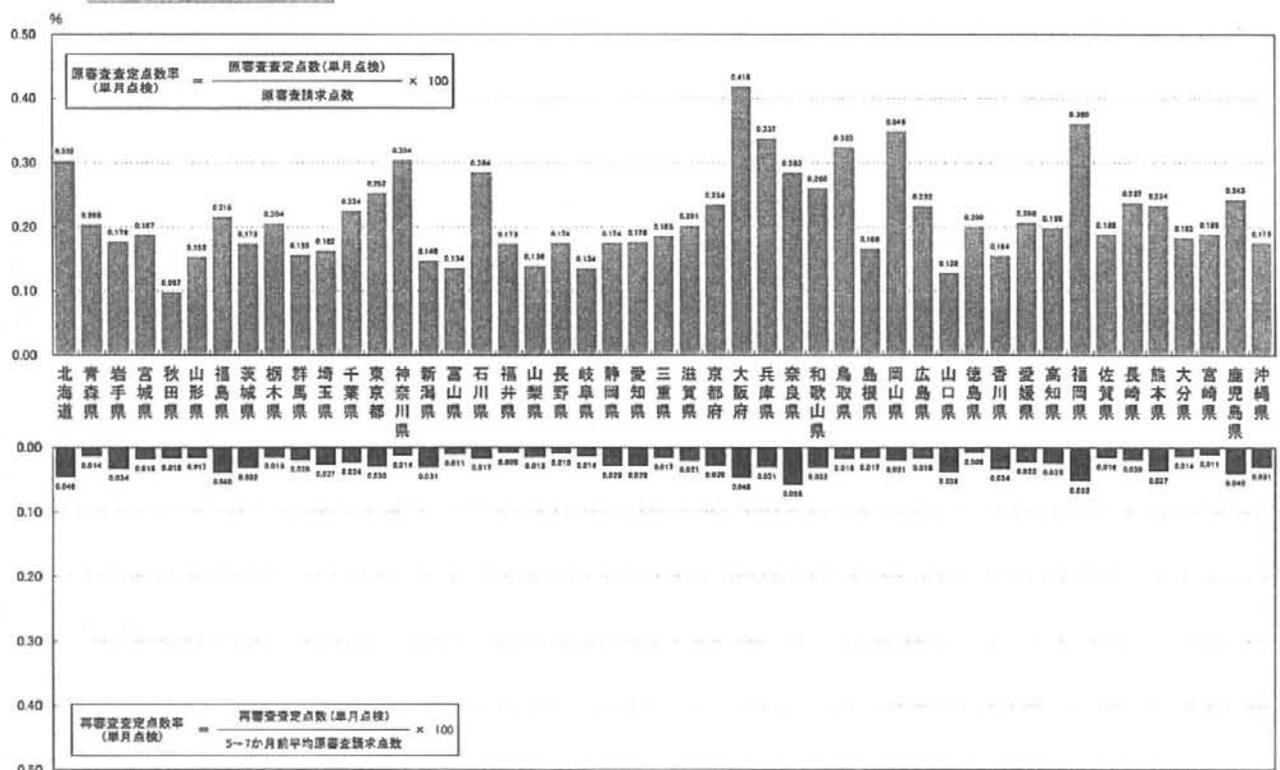


図5-5 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定件数率(単月点検)の状況

歯科計

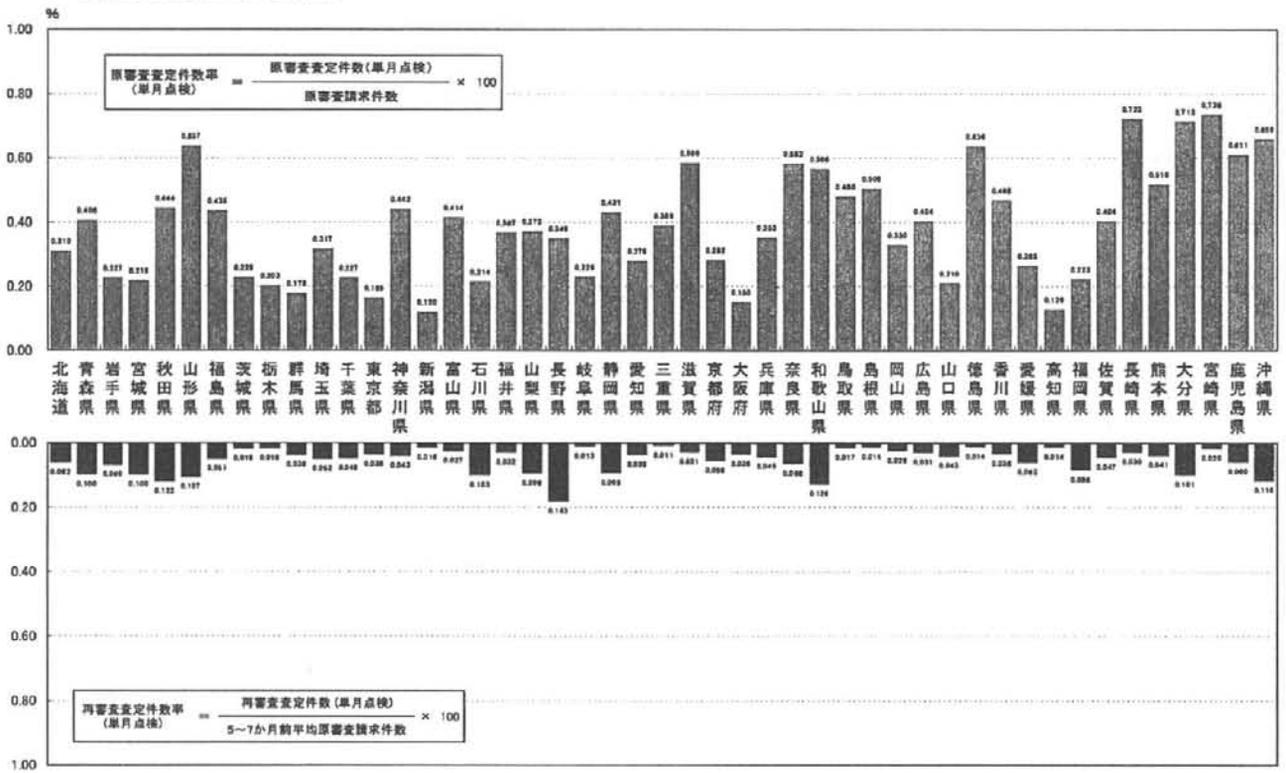


図5-6 平成24年12月審査分の支部別、原審査及び再審査査定件数率(単月点検)の状況

歯科計

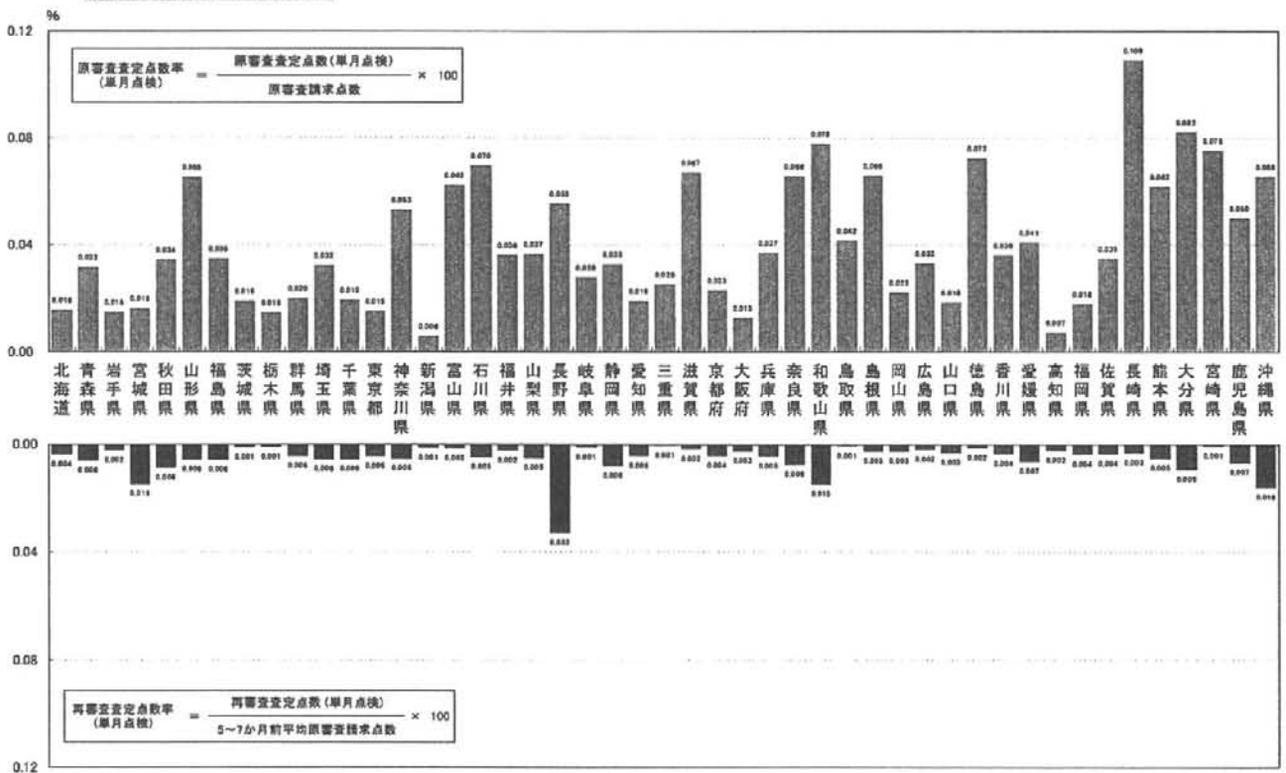


図5-7 平成24年12月審査分の支部別、原審査査定件数率及び点数率(突合点検)の状況

医科歯科計

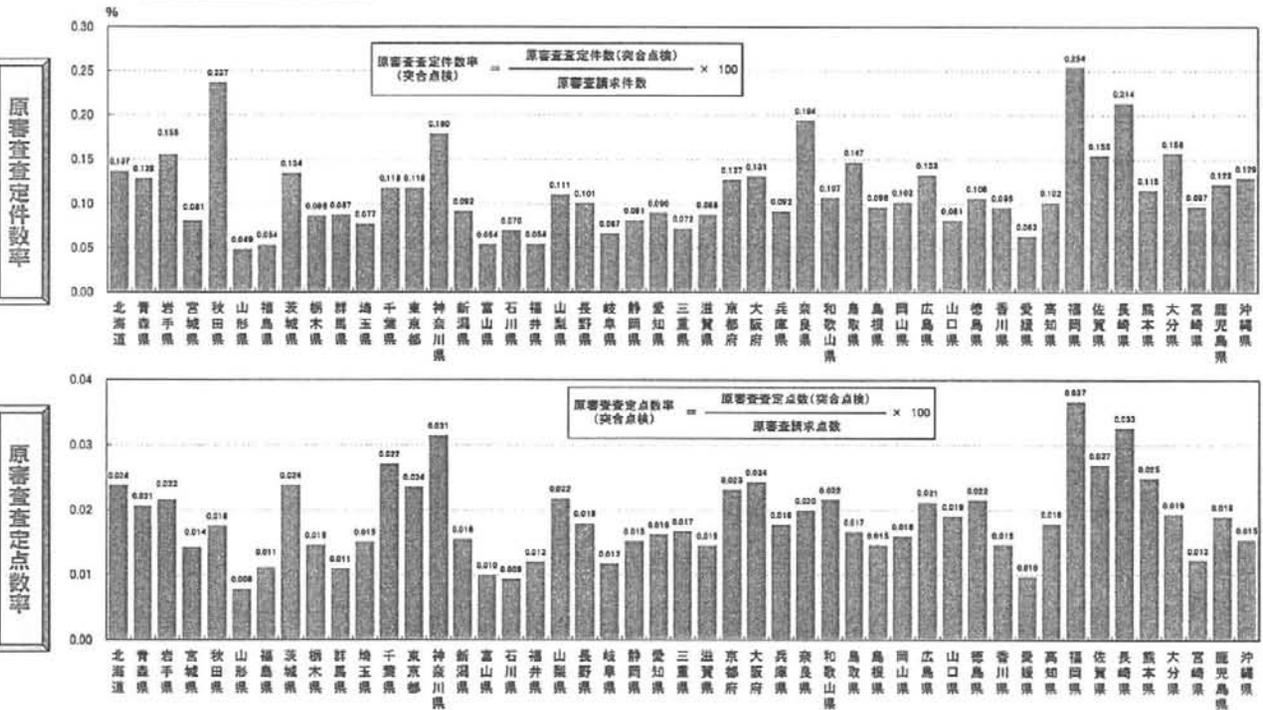


図5-8 平成24年12月審査分の支部別、原審査査定件数率及び点数率(縦覧点検)の状況

医科歯科計

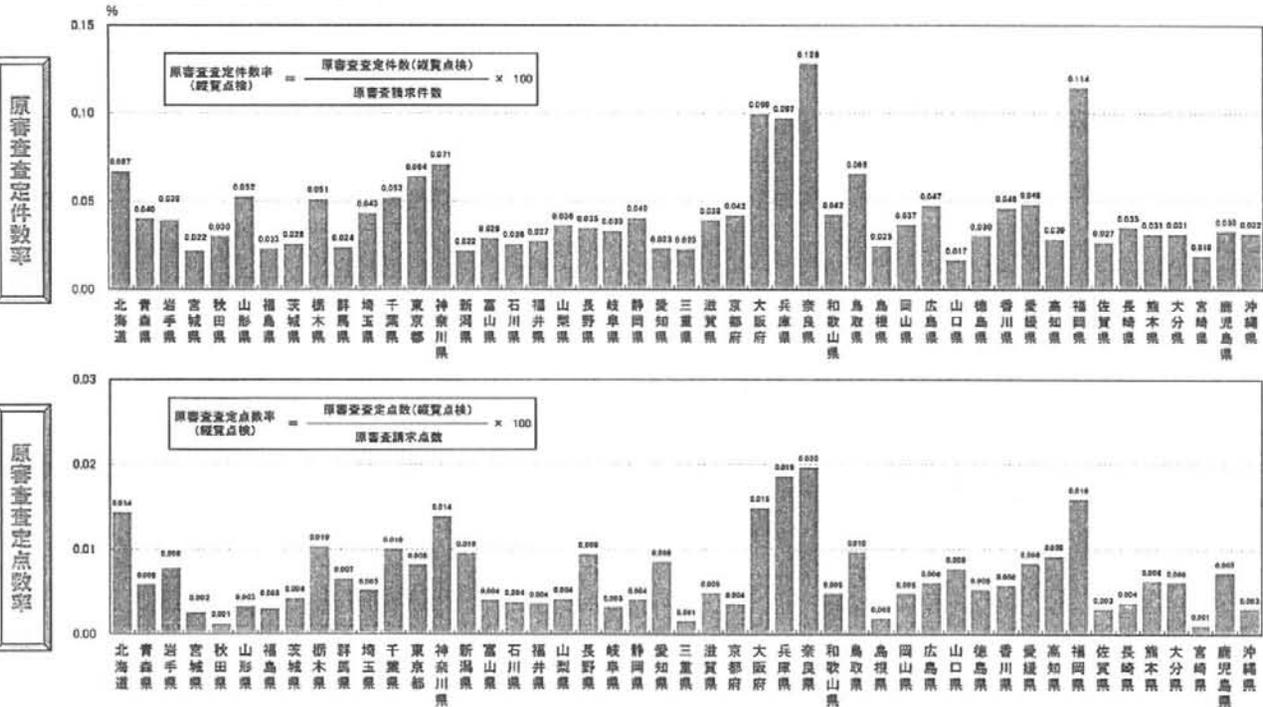


図6 減点・増点別1万点当たり原審査査定点数の月別推移【参考】

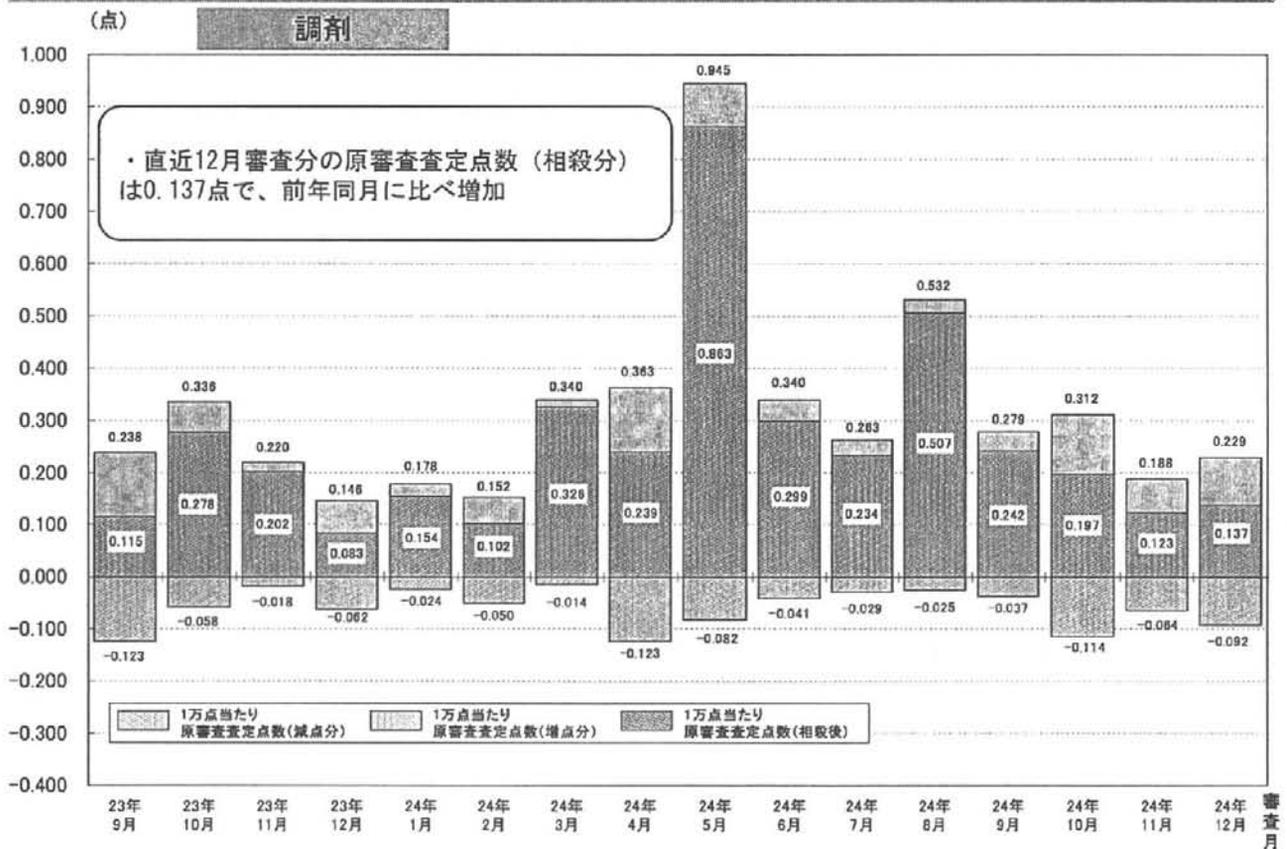
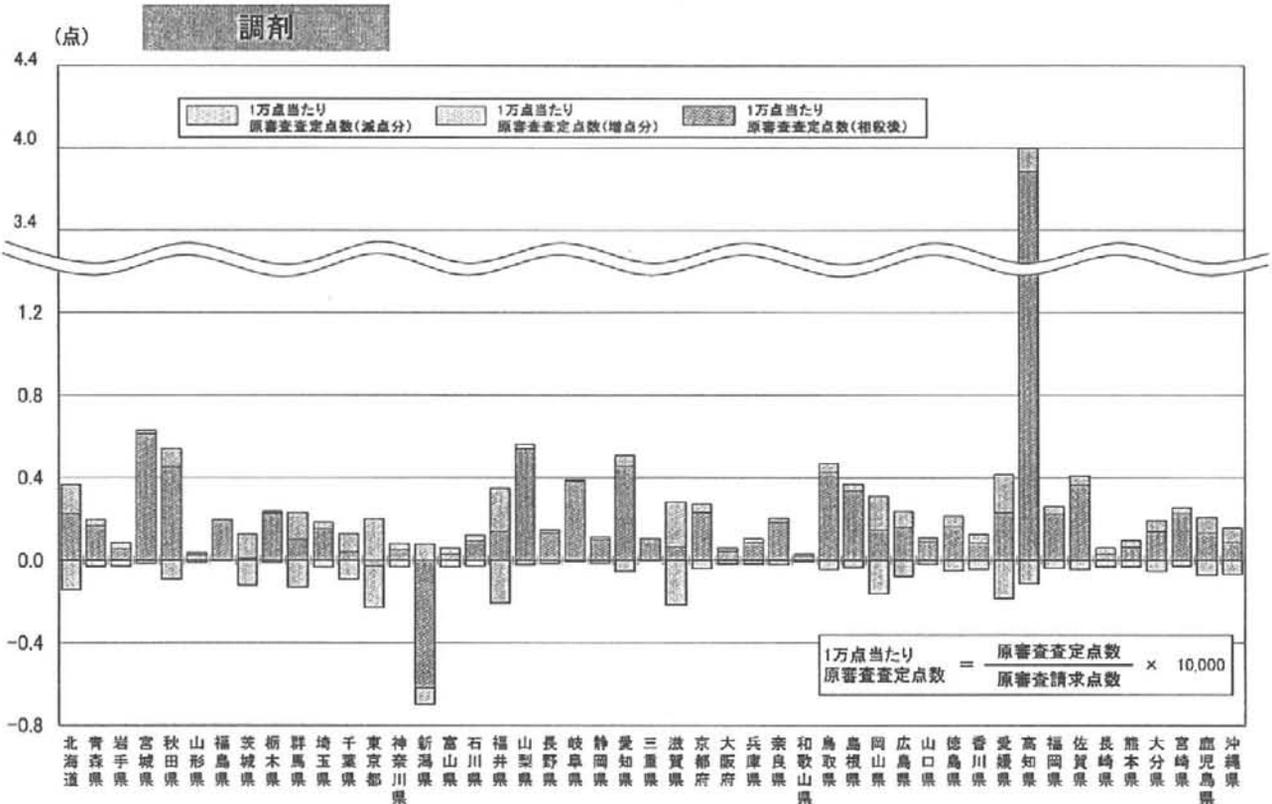


図6-2 平成24年12月審査分の減点・増点別、支部別請求1万点当たり原審査査定点数の状況【参考】



(附) 支払基金における審査状況  
(平成24年11月審査分)

平成24年11月審査分の突合点検に係る責別の査定状況

	査定件数		構成割合		査定点数		構成割合	
	件数	割合	件数	割合	点数	割合	点数	割合
<b>突合点検</b>	61.9 千件	100.0 %			2,073.5 万点	100.0 %		
(再掲)医科	61.5 千件	100.0 %			2,068.9 万点	100.0 %		
(再掲)歯科	0.4 千件	100.0 %			4.6 万点	100.0 %		
<b>医療機関分</b>	61.8 千件	99.7 %			2,063.3 万点	99.5 %		
(再掲)医科	61.3 千件	99.7 %			2,058.7 万点	99.5 %		
(再掲)歯科	0.4 千件	99.3 %			4.6 万点	99.7 %		
<b>調剤薬局分</b>	0.2 千件	0.3 %			10.2 万点	0.5 %		
(再掲)医科	0.2 千件	0.3 %			10.2 万点	0.5 %		
(再掲)歯科	0.0 千件	0.7 %			0.0 万点	0.3 %		

※平成25年1月30日現在において責別が確定したものの数値である。

## 8 特別審査委員会の取扱状況 (平成25年2月審査分)について

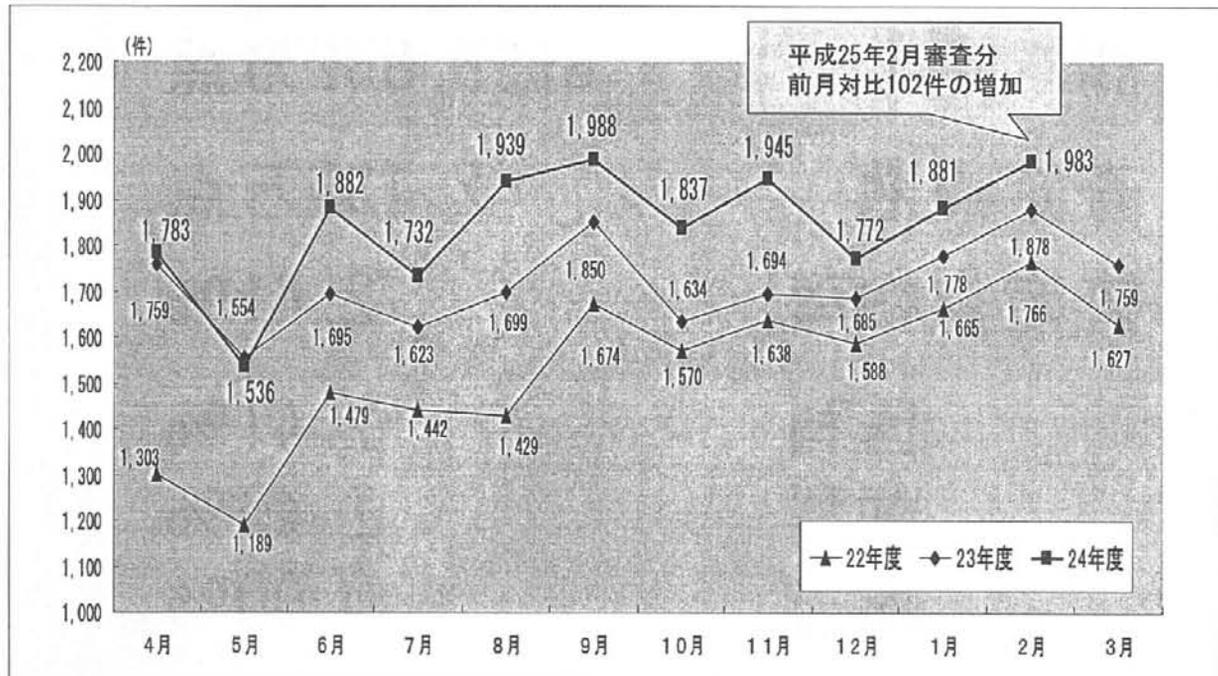
74

### 特別審査委員会取扱状況 平成25年2月審査分

受付件数	1,983件
医科	1,920件 (96.8%)
歯科	47件 (2.4%)
漢方	16件 (0.8%)

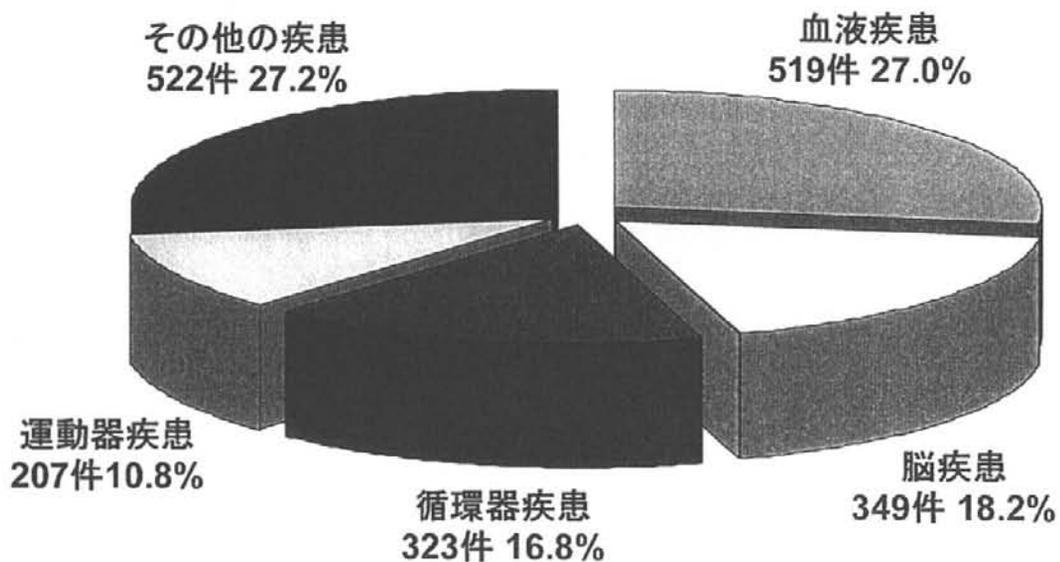
75

## 受付件数の推移



76

## 医科の内訳



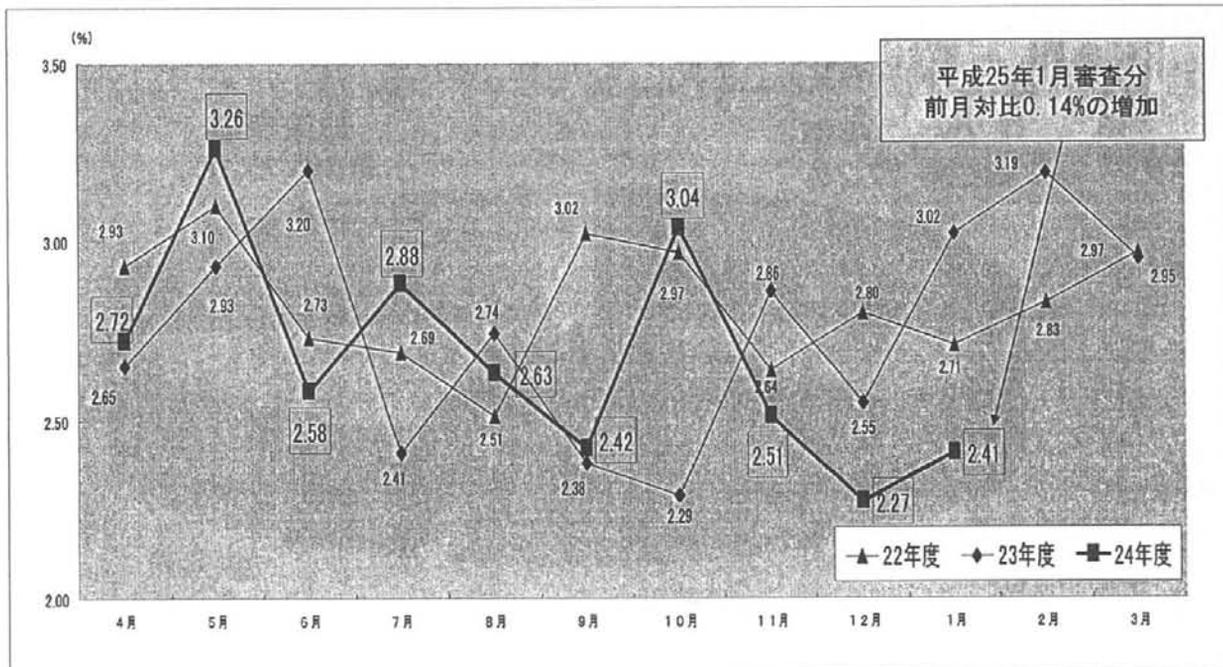
77

# 平成25年1月審査分の審査状況

請求点数	8億8,882万点
査定点数	2,139万点
査定点数率	2.41%
医科	2.41%
歯科	2.45%
漢方	0.00%

78

## 査定点数率の推移



79

## 9 後期高齢者支援金等の収納状況 (平成24年度第10期(25年1月)分)について

80

## 後期高齢者支援金等の収納状況 (平成24年度第10期(1月)分)

納付期限(2月5日)現在

区 分	収 納 率	
	保険者数	金 額
後期高齢者支援金等	99.5%	99.6%
前期高齢者納付金等	99.6%	99.5%
退職者給付拠出金	99.2%	99.5%
介護給付費・ 地域支援事業支援納付金	99.5%	99.5%

○ 指定期限の2月18日までに全額収納済

81

## 記者会見等の開催予定

### 1 全国基金審査委員長・支部長会議の公開予定

・日時

平成25年3月7日(木) 13:00～(1時間程度)

・場所

ザ・グランドホール(品川グランドセントラルタワー3階)

### 2 次回記者会見開催予定

・日時

平成25年3月18日(月) 17:00～

・場所

基金本部9階会議室